2011 (平成 23) 年

教室年報

関西医科大学外科学講座

Department of Surgery, Kansai Medical University

附属病院スタッフ紹介

2012 年 6 月現在

枚方病院	卒業年度	
教授	1981	權　雅憲
教授	1974	中根恭司
准教授（病院教授）	1977	濱田吉則
准教授	1988	松井陽一
助教（診療講師）	1990	高田晃平
講師 B	1991	海堀昌樹
講師 B	1991	里井壮平
助教（診療講師））	1992	岩本慈能
講師 B	1993	井上健太郎
助教（診療講師）	1993	山本大悟
助教（診療講師）	1994	豊川秀吉
助教（診療講師）	1996	道浦　拓
助教（診療講師）	1996	柳本泰明
助教（診療講師）	1996	松井康輔
助教（診療講師）	1996	徳原克治
助教	1999	福井淳一
助教	1999	向出裕美
助教	1999	尾崎　岳
助教	2002	山本智久
病院助教	2002	廣岡　智
病院助教	2006	津田　匠
病院助教	2006	坪田　優
病院助教	2007	笠原憲子
病院助教	2008	松島英之
病院助教	2008	菱川秀彦
病院助教	2008	中村有佑
専修医	2009	坂口達馬
専修医	2009	中谷和義
専修医	2010	良田大典
専修医	2010	桒名香代子
GICU　助教	1999	石崎守彦
救命　助教	2002	桜本和人

滝井病院	卒業年度	
准教授（病院教授）	1973	高田秀穂
講師	1988	北出浩章
講師	1990	吉田　良
助教（診療講師）	1994	中井宏治
助教	1996	横井川規臣
助教	1996	柳田英佐
助教	1998	肱川　健
助教	1998	山田正法
助教	1999	宮宗武史
助教	1999	松浦　節
病院助教	2001	山尾　順
病院助教	2002	荒木吉朗
香里病院		
准教授（病院教授）	1977	吉岡和彦
助教（診療講師）	1995	金　成泰
助教（診療講師）	1996	吉田秀行
助教	1998	神原達也
助教	2000	岡崎　智
助教	2000	兼松清果
大学院生		
4 回生	2003	大石賢玄
4 回生	2003	岩城隆二
4 回生	2003	山木　壮
4 回生	2003	由井倫太郎
3 回生	1998	田中義人
3 回生	2004	矢内洋次
2 回生	2004	三木博和
1 回生	2006	中竹利知

出向病院スタッフ紹介

2012 年 6 月現在

出向病院	卒業年度	
安城更生病院	1995	棚野晃秀
済生会泉尾病院		
副院長	1985	山道啓吾
医長	1989	元廣高之
	1999	田中宏典
	2006	上山庸佑
	2006	岩井愛子
上山病院		
副院長	1989	小倉徳裕
部長	1990	荒木　浩
交野病院		
部長	1984	印牧俊樹
	1991	栗本修次
萱島生野病院		
部長	1985	岡村成雄
	2002	中野誠人
北野病院	1987	佐藤正人
小松病院		
副院長	1977	是枝　敬
神戸徳洲会病院		
副院長	1987	上原正憲
医長	1995	長谷川健司
	2006	中竹利知
東朋香芝病院院長	1983	高井惣一郎

出向病院	卒業年度	
宝塚病院		
部長	1982	大草世雄
	1995	平　充
	1995	松宮美保
	1997	馬殿徹也
藤本病院		
院長	1982	川口雄才
部長	1990	山田　斉
	1998	寺川直良
明生病院		
部長	2000	小松優治
	2001	矢内勢司
牧病院		
部長	1993	佐藤睦哉
	1995	二階堂任
	2001	松本真由美
吉田病院		
	1988	奥野雅史
	1991	吉田和正
若草第一		
院長	1983	山中英治
部長	1992	小田道夫
医長	1996	北川克彦
	1996	中本博之
和田病院	1994	和田譲二

学会評議員、指導医、専門医（認定医）および各種資格認定（50 音順）

外科学会

代議員（2）：權　雅憲、中根恭司

指導医（21）：上原正憲、岡村成雄、小倉徳裕、海堀昌樹、川口雄才、北出浩章、權　雅憲、里井壮平、佐藤正人、高井惣一郎、高田秀穂、棚野晃秀、徳原克治、豊川秀吉、中根恭司、濵田吉則、松井陽一、元廣高之、山中英治、山道啓吾、吉岡和彦、吉田　良

消化器外科学会

評議員（2）：海堀昌樹、權　雅憲

指導医（15）：岡村成雄、海堀昌樹、北出浩章、川口雄才、權　雅憲、里井壮平、高井惣一郎、高田秀穂、中根恭司、濵田吉則、松井陽一、山中英治、山道啓吾、吉岡和彦、吉田　良

専門医（26）：荒木吉朗　、井上健太郎　、岩本慈能　、岡村成雄、尾崎　岳、海堀昌樹、川口雄才、北出浩章、權　雅憲、里井壮平、高井惣一郎、徳原克治、豊川秀吉、中根恭司、中本博之、松井康輔、松井陽一、道浦　拓、元廣高之、柳田英佐、柳本泰明、山中英治、山道啓吾、横井川規巨、吉岡和彦、吉田　良

消化器がん外科治療認定医（2）：上原正憲、徳原克治

臨床外科学会

評議員（8）：海堀昌樹、權　雅憲、高井惣一郎、高田秀穂、中根恭司、濵田吉則、山中英治、吉岡和彦

胃癌学会

評議員（3）：井上健太郎、中根恭司、山道啓吾

食道学会

評議員（3）：中井宏治、道浦　拓、山道啓吾

食道外科専門医（1）：山道啓吾

認定医（4）：金　成泰、中井宏治、道浦　拓、山道啓吾

大腸肛門病学会

評議員（3）：岩本慈能、高田秀穂、吉岡和彦

指導医（4）：岩本慈能、高田秀穂、吉岡和彦、吉田　良

専門医（5）：岩本慈能、高田秀穂、畑　嘉高、吉岡和彦、吉田　良

肝胆膵外科学会

評議員（9）：石崎守彦、海堀昌樹、北出浩章、權　雅憲、里井壮平、高井惣一郎、豊川秀吉、松井康輔、柳本泰明

高度技術指導医（5）：海堀昌樹、北出浩章、權　雅憲、里井壮平、高井惣一郎

内視鏡外科学会

評議員(2)：權　雅憲、山道啓吾

技術認定医（6）：井上健太郎、岩本慈能、小倉徳裕、權　雅憲、佐藤正人、松井陽一

腹部救急外科学会

評議員（2）：權　雅憲、中根恭司

小児外科学会

評議員（3）：佐藤正人、高田晃平、濵田吉則

指導医（3）：佐藤正人、高田晃平、濵田吉則

専門医（3）：佐藤正人、高田晃平、棚野晃秀、濵田吉則

乳癌学会
専門医（2）：山本大悟、吉田秀行
検診マンモグラフィー認定医（13）：荒木　浩、荒木吉朗、石崎守彦、岩本慈能、大石賢玄、兼松清果、末岡憲子、坪田優、山田　斉、山中英治、山本大悟、吉田秀行、吉田　良

外科系連合学会
評議員（1）：高田秀穂

日本癌治療学会
代議員(1)：權　雅憲

癌治療認定医機構
癌治療認定医（23）：荒木吉朗、荒木　浩、石崎守彦、岩本慈能、大石賢玄、尾崎　岳、海堀昌樹、神原達也、北出浩章、里井壮平、高井惣一郎、田中宏典、寺川直良、中井宏治、廣岡　智、福井淳一、松井陽一、矢内洋次、柳本泰明、山中英治、山道啓吾、山本大悟、吉田　良
暫定教育医（17）：荒木　浩、岡村成雄、川口雄才、北出浩章、金　成泰、是枝　敬、權　雅憲、里井壮平、佐藤正人、高田秀穂、徳原克治、豊川秀吉、中根恭司、松井陽一、山道啓吾、吉岡和彦、吉田　良

日本緩和医療学会
暫定指導医（1）：吉田　良

静脈経腸栄養学会
評議員（1）：山中英治
指導医（2）：北出浩章、山中英治
TNT 認定医（9）：荒木　浩、小倉徳裕、小田道夫、北川克彦、北出浩章、寺川直良、中井宏治、福井淳一、山中英治

日本外科代謝栄養学会
評議員（3）：海堀昌樹、山中英治、吉岡和彦

消化器病学会
専門医（1）：荒木吉朗

肝臓学会
評議員(1)：海堀昌樹
指導医(1)：海堀昌樹
専門医（2）：海堀昌樹、横井川規巨

感染症学会
ICD 認定医（7）：里井壮平（日本救急医学会）、寺川直良（化学療法学会）、福井淳一(日本集中治療医学会)、道浦拓、山田　斉、山中英治、吉田　良

その他学会評議員
がん集学的治療研究財団（中根恭司）、**日本バイオセラピィー学会**（柳本泰明）、**クリニカルパス学会**（山中英治）、**医療マネジメント学会**（山中英治）、**在宅医療学会褥瘡学会**（山中英治）、**日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会**（吉岡和彦）

麻酔標榜医（1）：福井淳一
英国医師免許（2）：山本大悟、吉岡和彦

2012 年 6 月現在

2011 年診療報告

消 化 管 外 科

1. スタッフ

職名	氏名	専門分野
診療教授（部長代理・科長）	中 根 恭 司	上部消化管外科
診療講師（外来医長）	岩 本 慈 能	下部消化管外科
診療講師	井上 健太郎	上部消化管外科
診療講師（病棟医長）	道 浦 拓	上部消化管外科
助 教	徳 原 克 治	下部消化管外科
助 教	山 田 正 法	上部消化管外科
助 教	福 井 淳 一	下部消化管外科
助 教	向 出 裕 美	上部消化管外科
病院助教	津 田 匠	下部消化管外科

（平成 23年 12 月 1 日現在）

2. 診療体系（主な診療内容とその取り組み）

1）診療疾患

（1）消化器系悪性疾患

（食道癌、胃癌、大腸癌、間葉系悪性腫瘍など）

（2）消化器系良性疾患

（食道アカラシア、食道裂孔ヘルニア、消化性潰瘍、クローン病、潰瘍性大腸炎、直腸脱、鼠径ヘルニアなど）

2）他診療科との連携

（1）食道カンファレンス（消化器内科、放射線科と週1回）

（2）胃癌カンファレンス（消化器内科、放射線科、病理部と月 1 回）

（3）下部消化管カンファレンス（消化器内科と週1回）

（4）術前カンファレンス（放射線科と週1回）

3）地域医療機関との連携

地域の関連病院や診療所と密接な連携を行い、手術適応の検討、手術患者の術前検査、術後管理、癌患者の術後補助療法としての化学療法や手術不能患者の化学療法、終末期癌患者の緩和ケアまでトータルサポートを行っています。

4）専門外来

（1）食道外来（水）

（2）胃外来（火、水、金）

（3）大腸外来（月、木）

（4）ストーマ外来（月、木）

（5）化学療法外来

上部消化管（金）

下部消化管（月、水）

（6）ヘルニア外来（金）

（7）セカンドオピニオン　胃がん：水・午後

大腸がん：木・午後

3. 科の特徴

各疾患グループに分かれて専門性の高い医療を目指している。基本的にはガイドラインに基づいた治療を行ってい

るが、患者さんの IC のもと、臨床研究も積極的に取組み、より良い治療法の開発を目指している。低侵襲手術、腹腔（胸腔）鏡下手術、機能温存・再建手術、また、進行癌や切除不能症例に対しては化学療法、放射線療法などを組み合わせて集学的治療を行っている。多施設共同研究にも積極的に参加している。クリニカルパスやチーム医療も積極的に導入し、平均在院日数は約 2 週間。抗癌化学療法は外来化学療法センターで行っている。

食道グループ:

食道癌の治療を主に行っているが、食道アカラシアや逆流性食道炎（胃食道逆流症：GERD）など食道良性疾患の外科治療も積極的に行っている。食道癌に対する治療は外科的切除が標準で、早期癌に対する内視鏡治療や進行癌に対する化学放射線療法など手術以外の治療を消化器内科や放射線科と合同で行っている。手術は頸・胸・腹の 3 領域リンパ節郭清を伴う右開胸開腹食道亜全摘術を標準術式とし、早期食道癌に対する胸腔鏡補助下食道切除術を行っている。一方、食道良性疾患に対しては積極的に鏡視下（胸腔鏡、腹腔鏡）手術を導入している。

胃グループ:

早期癌に対しては、胃の機能を温存した縮小手術や、傷の痛みが少ない腹腔鏡下手術を行っている。高度進行癌に対しては集学的治療を積極的に行っている。４月からは JCOG(Japan Clinical Oncology Group)胃がんグループの参加施設となっており、積極的に臨床研究に従事している。また、近隣の開業医、消化器内科医、放射線科医、病理医と定期的にカンファレンスを開催し、術前診断能や治療方針の向上に努めている。2004 年に胃がん患者さん友の会（スマイル）を発足し、年 3－4 回情報交換会を開催している。

大腸グループ:

初発大腸がんの約 70%を腹腔鏡下手術で行っている。平成 22 年度より早期がんなどを対象としさらに低侵襲と考えられる単孔式腹腔鏡下手術（TANKO）を導入した。直腸癌では放射線・化学療法などを導入し局所制御の向上を図るとともに、可能な限り括約筋温存手術を施行している。進行・再発大腸がんでは化学療法・放射線療法・手術療法などを組み合わせ治癒を目指す治療を行っている。特に肝転移症例・肺転移症例では外科・肝臓グループや呼吸器外科と協調し可能な限り切除を行っている。炎症性腸疾患では、消化器内科とのカンファレンスを毎週行い遅滞なきように潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患を中心に外科的治療を行っている。

４. 主な診療実績

食道グループ:

初発食道癌の年間症例数 96 例（放射線科治療例を含む）うち手術症例 39 例（胸腔鏡下６例）。食道良性疾患手術症例：６例 Stage 別 5 年生存率：

stage0：100%、Ⅰ：85.0%、Ⅱ：65.2%、Ⅲ：52.0%、Ⅳa：31.8%、Ⅳb：0%（3 生率：33.3%）

胃グループ:

胃の手術件数は 176 件で、内 64 件は腹腔鏡下手術です。詳細な術式は、幽門側切除 108 件、胃全摘 30 件、幽門保存胃切除 12 件、噴門側胃切除 9 件、胃局所切除 6 件、バイパス手術 6 件、その他 5 件です。

Stage 別 5 年生存率は、Stage ⅠA：97%、ⅠB：91%、Ⅱ：71%、ⅢA：55%、ⅢB：29%、Ⅳ：14%です。

大腸グループ:

初発大腸癌手術例 171 例（腹腔鏡下手術 122 例）

うち直腸がん 74 例、結腸がん 97 例

炎症性腸疾患 9 例

うちクローン病 6 例、潰瘍性大腸炎 3 例

進行・再発大腸がんに対する化学療法導入 42 例

肝 胆 膵 外 科

1. スタッフ

職名	氏名	専門分野
教　授（部長・科長）	權　　雅　憲	肝胆膵外科
講　師	松　井　陽　一	肝胆膵外科
講　師（病棟医長）	海　堀　昌　樹	肝胆膵外科
講　師（外来医長）	里　井　壯　平	肝胆膵外科
助　教	豊　川　秀　吉	肝胆膵外科
助　教	柳　本　泰　明	肝胆膵外科
助　教	松　井　康　輔	肝胆膵外科
助　教	石　崎　守　彦	肝胆膵外科
病院助教	山　本　智　久	肝胆膵外科

（平成 23 年 12 月 1 日現在）

2. 診療体系（主な診療内容とその取り組み）

1）診療疾患

（1）悪性疾患

（肝癌、胆道癌、膵癌など）

（2）良性疾患

（胆石、総胆管結石、肝嚢胞、良性膵腫瘍など）

2）他診療科との連携

（1）胆膵カンファレンス（消化器内科と月 2－3 回）

（2）肝疾患カンファレンス（消化器内科、放射線科と毎週）

（3）肝移植カンファレンス（麻酔科、内科、放射線科、精神科、中央検査部と適宜）

（4）術前カンファレンス（放射線科と毎週）

（5）肝疾患運動療法カンファレンス（消化器内科、健康科学センター、栄養課と月 2 回）

（6）進行肝癌治療法検討カンファレンス（消化器内科、放射線科と月１回）

（7）胆膵病理カンファレンス （消化器内科、病理と月１回）

3）地域医療機関との連携

地域の関連病院や診療所と密接な連携を行い、手術適応の検討、手術患者の術前検査、術後管理、癌患者の術後補助療法としての化学療法や手術不能患者の化学療法、末期癌患者のターミナルケアまでトータルサポートを行っている。寝屋川市の上山病院や交野市の交野病院に化学療法センターを開設し、また枚方市の吉田病院においても標準治療を行っている。

4）専門外来

（1）肝胆膵外来（月、火、水、木、金、土）

（2）肝臓外来（水）

（3）肝移植外来（月）

（4）胆石外来（金）

（5）化学療法外来　胆膵（月、水）

（6）肝運動療法外来（月）

3. 科の特徴

基本的にはガイドラインに基づいた治療を行っているが、患者さんへの IC のもと、臨床研究も積極的に取組み、より良い治療法の開発を目指している。低侵襲手術、腹腔（胸腔）鏡下手術、機能温存・再建手術、また、進行癌や切除不能症例に対しては化学療法、免疫療法、放射線療法などを組み合わせて集学的治療を行っている。多施設共同研究にも積極的に参加している。クリニカルパスやチーム医療も積極的に導入し、平均在院日数は約 2 週間。抗癌化学療法は

外来化学療法センターで行っている。
1）肝臓グループ
　肝臓疾患に対する治療を消化器内科、放射線科の医師達のチームでカンファレンスを行い、疾患の評価・画像診断・肝機能の評価・治療法の検討を行っている。症例に応じ肝切除術、肝動脈塞栓療法、経皮的ラジオ波、マイクロ波凝固療法などを行っている。進行肝癌では上記治療を組み合わせた集学的治療を行っている。また脈管侵襲陽性高度進行肝癌患者に当大学倫理委員会承認のもと、国内外を通じて初の試みである Sorafenib＋Cisplatin 分割動注併用療法の臨床試験を開始、Phase I 試験を終了、多施設共同 Phase II 試験の開始を予定している。肝臓手術において手術前の肝臓機能を的確に評価し、QOL ならびに予後を損なわない手術を行っている。以下の項目が当科での肝切除術に対する特徴である。
1．手術後合併症ゼロを目指した手術前後での工夫
・当院で開発され、国内外でその有用性が広く認められている肝アシアロシンチグラフィーによる的確な手術前肝予備能（機能）評価。
・手術前CT画像シミュレーションによる腫瘍の局在を徹底的に把握確認。
・肝臓切離時出血を最小限にするための手術器具の改良により最近では自己血以外の輸血は行っていない。
・合併症として最も頻度の高い胆汁漏の検出器具（ICG 赤外観察カメラシステム）の開発使用により同合併症が激減。
2．肝癌合併肝硬変症に対する肝切除手術前後での運動・食事療法を中心とした包括的リハビリテーションによる手術後の肝硬変の栄養代謝異常の改善（健康化学センター専属医師、トレーナー、栄養士、外科病棟医師、看護師のチーム医療にて実践）。
現段階において運動療法により術後 6 ヶ月にインスリン抵抗性が改善したとする結果を得ている。また術後肝癌再発は栄養・運動療法により減少傾向を認めている。
・これまでの肝臓外科手術における古くからの慣習・常識を見直し、術前術後の運動療法を積極的に行うことにより患者の蛋白・エネルギー低栄養状態および「生活の質」を全く損うことなく手術後 10 日間前後での早期退院が可能となっている。最近では運動療法と BCAA 製剤投与により術後の骨格筋の萎縮予防効果が示された。
3．肝癌再発に対しての集学的治療
　元来肝細胞癌は術後高率に再発し、通常経皮経肝動脈塞栓化学療法が行われる。当科では肝癌再発が生じても積極的に2回目、3回目の肝切除を行い現在のところ良好な結果（再発後生存期間の延長）を得ている。障害肝の存在している肝癌に対する再肝切除術は、肝臓手術を豊富に行っている施設でしか通常行われていない。また各種治療を行っても進行性の肝癌再発に対してはソラフェニブ（分子標的治療薬）を比較的早期に導入し、生存期間の延長を多数の症例で認め、また腫瘍完全消失も数例存在している。外科手術後のソラフェニブ使用症例数は既に 65 例を超えており、全国的にみても使用症例数は多い。
臨床試験の実際
- 肝障害併存肝切除術における抗菌剤の至適投与間隔時間・投与日数の検討
- 肝癌組織における TGFbeta シグナル伝達機構と予後との関係
- 肝癌組織における Glypican-3 発現機構とそのアンチセンス発現、予後との関係
- 肝細胞癌における mTOR を介したシグナル伝達機構と予後との関係
- 治療抵抗性進行肝癌に対するウイルス療法の検討
- ICG 赤外観察カメラシステムを用いた肝切除後胆汁瘻の防止対策
- 各種消化器癌における誘導型一酸化窒素合成酵素のシグナル伝達機構の解析
- 肝臓切除手術における肝実質切離器具の比較試験
- 進行肝細胞がんに対するソラフェニブの臨床第 II 相試験
- 高度進行肝癌患者に対する Sorafenib＋Cisplatin 分割動注併用療法の多施設共同 Phase II 試験
- CT画像からの肝臓自動分割と手術計画支援シミュレーションシステムの開発
- 新デジタル物理シミュレーションによる肝臓手術ナビゲーションシステムの開発（全国多施設共同研究）
- 肝切除術患者に対する包括的リハビリテーションおよび BCAA 顆粒製剤（リーバクト顆粒）投与の臨床効果
- ウイルス性肝疾患患者食事・運動療法とアウトカム評価に関する研究
- 大阪府内5大学肝臓外科における外科専門医育成プログラムの策定と評価

- 大阪府内5大学肝臓外科における肝切除手術術式および周術期管理に関する後ろ向き研究
- 大阪府内5大学およびその関連施設における胆汁漏に伴う細菌感染・腹腔内感染の実態調査
- 初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する前向きコホート研究（全国多施設共同研究）
- 初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ランダム化並行群間比較試験（全国多施設共同研究）
- 肝臓がん手術における腹腔ドレーン留置の必要性、及び適切な留置期間の検討（全国多施設共同研究）
- 進行・再発肝細胞癌におけるプロシュア®を用いたがん免疫栄養療法の検討
- ERAS を応用した消化器疾患の周術期栄養管理（全国多施設共同研究）
- NASH 背景肝における肝細胞癌発生に関する検討（全国多施設共同研究）
- 消化器外科疾患手術後における痛み評価に関する研究

2）胆膵グループ

当院消化器内科、放射線科や近隣の病院と密接に連携し、胆膵悪性腫瘍手術を中心に化学・放射線療法や、第 4 の治療で体にやさしい免疫治療を取り入れている（現在 WT1 ペプチドワクチンのみ実施、平成 24 年 8-9 月以降新規ペプチドワクチン実施予定）。手術可能な患者さんには安全で根治性の高い手術を行い、手術治療の不適な患者さんには外来化学療法センターを中心に、化学療法や放射線療法などを組み合わせて胆膵癌患者さんをトータルにサポートしている。私たちの扱う病気は主に難治性の悪性腫瘍であるため、治療の前に十分な説明（病気の範囲、治療内容、治療によって得られる効果、治療に伴う合併症や有害事象など）をさせていただき、ひとりひとりの患者さんに最適な治療法を提案し、患者さんやご家族が納得される治療を行うように心がけている。また標準治療以外に新しい効果の期待される治療がある場合には、安全性を最大限に考慮して、大学の倫理委員会で承認された臨床試験を積極的に導入している。また、術後外来通院に関して積極的に地域連携を行っている。胆石症は腹腔鏡下手術を第一選択とし、開腹への移行率は 2%。総胆管結石に対しては、消化器内科による内視鏡下除去術を行っている。2010 年より、ほとんど手術創が見えない美容的に優れた術式である単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を導入し、現在胆嚢摘出術の約 25%に施行している。総胆管結石に対しては、消化器内科による内視鏡下除去術を行っている。

臨床試験の実際

- 切除不能局所進行膵癌に対する化学放射線療法と化学療法の多施設共同ランダム化比較試験
- 切除可能膵癌に対する術前化学療法に関する多施設共同臨床試験
- 尾側膵切除術後における臨床的膵液漏発症率低下に関する多施設共同無作為化臨床比較試験
- 切除不能進行膵癌（局所進行又は転移性）に対する二次化学療法としての TS-1 隔日投与法　臨床第2相試験（多施設共同試験）
- 切除不能進行膵臓癌に対するゲムシタビン併用 WT1 ペプチドワクチン化学免疫療法とゲムシタビン単独療法のランダム化第 II 相臨床試験 (多施設共同研究)
- 局所進行膵癌に対する S-1 併用放射線療法における導入化学療法の意義に関するランダム化第 II 相試験（JCOG 1106）
- ゲムシタビン耐性膵癌患者を対象とした S-1/LV 併用療法と S-1 療法のランダム化比較試験(多施設共同研究)
- 膵癌に対する膵体尾部切除術後 No10LN 転移頻度の前向き調査（多施設共同試験）
- 膵中央区域切除における double PJ の有用性（多施設共同試験）
- 膵頭十二指腸切除術後非アルコール性脂肪肝患者に対するパンクレリパーゼ製剤の治療効果（多施設共同試験）
- 膵頭十二指腸切除術予定の膵癌患者に対するパンクレリパーゼ製剤の予防投与に関する RCT（多施設共同試験）
- 切除不能胆道癌に対するゲムシタビン/シスプラチン/S-1 併用療法（GCS 療法）の第 I/II 相試験（多施設共同試験）
- 肝葉切除を伴う胆道癌切除例に対する Gemcitabine（GEM）あるいは S-1 の術後補助化学療法の臨床第 I 相試験（多施設共同試験）
- 肝葉切除を伴わない胆道癌切除例に対するゲムシタビンとシスプラチン併用療法による術後補助化学療法の第 I 相試験（多施設共同試験）
- 肝葉切除を伴わない胆道癌切除例に対するゲムシタビンと TS-1 併用療法による術後補助化学療法の第 I 相試験（多施設共同試験）
- 切除不能進行膵癌（局所進行又は転移性）に対する TS-1 療法 Schedule modification の Feasibility 試験

- 高齢者切除不能進行膵癌（局所進行又は転移性）に対する TS-1 療法 Schedule modification の Feasibility 試験
- 切除不能膵癌や局所進行膵癌における staging laparoscopy による癌進展度評価
- 化学療法施行症名の味覚障害に対する健康食品である AHCC の介入試験
- 外科手術後肺塞栓予防のための予防的抗凝固療法に関する介入試験
- 膵切除術後の体性神経節ブロック併用フェンタニル持続静注による鎮痛法の検討
- 膵癌患者における免疫機能評価
- 胆膵癌切除不能患者に対する制吐剤の臨床試験
- 胆膵癌切除不能患者に対する貼付性除痛剤の臨床試験
- 腹腔鏡下胆嚢摘出術における予防的抗生剤投与の必要性についての無作為化比較臨床試験

4．主な診療実績

1）肝臓グループ（2011 年度）

肝切除術 101 例（肝細胞癌・肝内・肝門部胆管癌70 例、転移性肝癌 28 例、その他（胆嚢癌、肝内結石など）3 例）
術式：肝 3 区域切除3例、肝葉切除もしくは拡大肝葉切除 22 例、肝中央 2 区域切除 2 例、肝区域切除 11 例、肝亜区域切除 24 例、胆道再建を伴う肝葉切除 2 例、胆道再建を伴う肝葉切除 2 例、肝部分切除 39 例。腹腔鏡下肝切除 11 例

切除不能肝細胞癌に対する Sorafenib 使用症例 66 例

高度血管侵襲進行肝細胞癌に対する CDDP+Sorafenib 分割動注併用療法 13 例

肝細胞癌（2011 年まで：682 例）の 1/3/5/10 年累積生存率：92/63/52/47%

ステージ別 5 年累積生存率 stage Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ：68/60/43/36%

転移性肝癌（2011 年まで：192 例）の 3/5/10 年累積生存率：70/55/26%

生体肝移植術（2011 年まで：29 例）の 3/5 年累積生存率：79/79%

2）胆膵グループ（2011 年度）

手術合計 347 例：膵疾患手術 91 例（膵癌 64 例）、胆道疾患手術 31 例（悪性 29 例）、その他 7 例、良性胆嚢疾患 218 例（腹腔鏡下胆嚢摘出術 193 例）

術式：

膵切除 76 例（膵頭十二指腸切除 47 例、膵体部切除 24 例、膵全摘 3 例、分節切除 1 例、膵のう胞吻合 1例）
胆道再建を伴う肝葉切除 6 例、肝切除 4 例、肝外胆管切除 6 例、胃腸吻合 11 例、肝管空腸吻合 2 例、診断的腹腔鏡検査 12 例、その他

膵癌の 1/3/5 年累積生存率（2000～2005 年度）：放射線化学療法後根治切除 61/44/39%、
根治切除単独 57/10/7%

乳頭部癌：1年・3年・5年 98.4%・82.6%・65.5%

中下部胆管癌（膵頭十二指腸切除患者）1年・3年・5年 88.3%・57.2%・52.1%

上部肝門部癌1年・3年・5年 85.2%・42.3%・31.7%

小 児 外 科

1． スタッフ

職 名	氏 名	専門分野
病院教授（科長・外来医長）	濵 田 吉 則	小児外科
助 教（病棟医長）	高 田 晃 平	小児外科
専修医	中 谷 和 義	一般外科

2．診療体系（主な診療内容とその取り組み）

1）診療疾患

小児の病気のうち手術で治療する分野を広く担当しており、年齢も新生児から 15 歳までと広い。

2）他診療科および診療スタッフとの連携

小児疾患カンファレンス（小児科と適宜）、周産期カンファレンス（毎月、産科、小児科、小児外科）、小児外科症例検討会（毎週、外科研修医、小児科医、研修医、看護師が参加）

3）地域医療機関との連携

地域医療機関参加型の小児外科症例検討会を年 4 回開催し、地域の関連病院との密接な連携を行っている。

3．科の特徴

小児の病気のうち手術で治療する分野を広く担当している。年齢は新生児から 15 歳までと広く、また疾患の種類も多いのが特徴である。

新生児外科：生後 30 日までの新生児に対する手術で先天的で特殊な疾患が対象であるために、日本小児外科学会としては従来からとりわけ重要な意味をもつ手術として区別されている。重症かつ緊急性のある疾患が多く、出生後すぐに診断、治療が必要で高度な専門的な手術手技を要する。横隔膜ヘルニア、先天性消化管閉鎖症（食道、十二指腸、小腸など）、Hirschsprung 病、鎖肛、腹壁破裂や臍帯ヘルニアなどがある。出生前診断症例は産婦人科、新生児科と定期的なカンファレンスを行い、NICU のスタッフと連携して治療を行っている。

乳幼児外科：生後 1 歳未満の乳児から 6 歳までの幼児が対象である。最も多い疾患は鼠径ヘルニアで、麻酔科、手術室スタッフの協力のもと 1997 年から日帰り手術を導入している。母子分離をすることなく治療が完結でき、患者家族から好評を得ている。また、胆道閉鎖症、腸重積、急性虫垂炎など緊急を要する手術も多い。Hirschsprung 病や鎖肛の根治手術は乳児期に行うことが多く、病型に応じた手術を選択するなかで、必要な症例に対しては腹腔鏡補助下手術を応用している。神経芽細胞腫や肝芽腫などの腹部固形悪性腫瘍は、小児科、放射線科の各分野の専門医と協力して集学的治療を行っている。

低侵襲手術：創を出来るだけ目立たなくする努力の一環として、鏡視下手術を国内でいち早く小児外科疾患に導入した。とくに肥厚性幽門狭窄症や腸重積症に対する腹腔鏡手術や、横隔膜弛緩症に対する胸腔鏡下手術は本邦で最も早く施行した実績がある。日常的疾患としては腹腔鏡下手術を肥厚性幽門狭窄症、急性虫垂炎、メッケル憩室、卵巣嚢腫などに多数施行している。また、臍を利用した手術を行うことで術後の手術創痕を目立たなくする工夫を行っており、数年前から 2,500g 以下の低出生体重児も含めて臍部人工肛門造設術を施行している。

専門領域：胆道拡張症、膵・胆管合流異常症については多くの経験がある。日本膵・胆管合流異常研究会のなかで小児胆管径の基準値の作成やガイドライン作成に携わり、臨床研究をもとに画像診断法の改良、最適な胆道再建術式の選択、再手術の不要な手術手技の開発などを進めている。

4．主な診療実績

2011 年の入院治療総数は約 330 例で新生児は 16 例である。疾患、手術は小児外科の特徴で全身、多岐にわたる。手術は約 310 例で、最も多いものは停留精巣固定術を含む鼠径ヘルニア・水腫根治術で 150 例。新生児の先天性横隔膜ヘルニアや、先天性食道閉鎖症などの消化管閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症、壊死性腸炎、限局性回腸拡張症、メッケル憩室穿孔、Hirschsprung 病、直腸肛門奇形（鎖肛）、乳幼児の腸重積、急性虫垂炎などの消化器疾患は約 80 例。腹壁破裂、臍ヘルニア、漏斗胸など胸腹壁疾患 20 例、胆道閉鎖症、胆道拡張症などの肝胆膵疾患 10 例、神経芽細胞腫、奇形腫などの小児固形腫瘍 10 例。その他、全身麻酔下に施行した体表小手術、中心静脈カテーテル留置術などの手術、処置 25 例、直腸肛門内圧、24 時間 pH モニタリング、胃内胆汁逆流などの特殊検査 15 例。

手術のうち日帰り手術は鼠径ヘルニアなどを対象に約 120 例に施行した。胸腔鏡手術は横隔膜弛緩症、遅発性横隔膜ヘルニアを対象に 2 例に施行した。腹腔鏡手術は、胃食道逆流症、肥厚性幽門狭窄症、胆石症、Hirschsprung 病、虫垂炎、腹腔内精巣などを対象に 25 例に施行した。

乳 腺 外 科

1． スタッフ

職 名	氏 名	専門分野
病院講師（科長・外来医長）	山 本 大 悟	乳腺外科
助 教	坪 田 優	乳腺外科
病院助教	末 岡 憲 子	乳腺外科

2．診療体系（主な診療内容とその取り組み）

1）診療疾患

乳癌を中心とする悪性疾患から良性疾患に至るまで幅広く診療に従事している。外来診療の特長としては、診療日をそれぞれ目的に応じて機能的に細分化しそれぞれの専門の医師が診療に従事している。

例えば初診外来、悪性疾患告知外来、良性疾患告知外来、術後転移再発を伴わない患者フォロー外来、転移再発患者フォロー外来、化学療法外来（腫瘍外科医による術前・術後全身治療）、検査外来（超音波+FNAC/CNB、マンモトーム、乳管内視鏡）をそれぞれ独立して設け円滑で機能的な診療に努めている。

2）他診療科との連携

病理部と乳腺病理カンファレンスを定期的に実施している。

3）地域医療機関との連携

地域の関連病院や診療所と密接な連携を行い、手術適応の検討、手術患者の術前検査、術後管理、癌患者の術後補助療法としての化学療法や手術不能患者の化学療法、末期癌患者のターミナルケアまでトータルサポートを行っている。

3．科の特徴

常に世界レベルでの up-to-date（最新）な手術や薬物療法などを含む治療が行えるように体制を整えている。乳がん患者さんの初診、告知からその後の治療に至るまで、専門医師・専門看護師・薬剤師・技師・等の専門スタッフによるチーム医療によって、身体の病気の治療（cure）にのみならず心のケア（care）にも重点をおいたホリスティックな医療を実践している。また、患者会（サポートグループ）が早くから設立されており、精神的な支援を行っている。

4．主な診療実績

乳癌手術件数 160 例

術式：乳房温存術、乳房切除術、腹直筋皮弁形成術など

5 年生存率：stage Ⅰ 93%、Ⅱ 85%、ⅢA 72%、ⅢB 70%、Ⅳ 10%

2011 年外科学講座関連病院手術症例数集計票

病院名	枚方病院	滝井病院	香里病院	安城厚生病院	済生会泉尾病院	上山病院	交野病院	萱島生野病院	北野病院	神戸徳洲会病院
手術件数	**1638**	**1072**	**437**	**194**	**368**	**164**	**224**	**147**	**285**	**555**
全身麻酔	1479	440	349	194	261	134	158	62	285	127
腰椎麻酔	94	77	55		38	7	1	49		17
局所麻酔	65	625	33		69	23	65	36		411
悪性疾患	**805**	**263**	**225**		**80**	**30**	**50**	**26**		**21**
食道癌	38	4			2 (1)					1
胃癌	165	62	34		13 (2)	11	9	3		5
結腸癌	108	79	58		23 (4)	9	13	8		10
直腸癌	66	62	28		21 (1)	9	3	6		4
乳癌	167		102		5		22	6		
肝癌・転移性肝癌	98	35			3					
生体肝移植										
胆管癌・胆嚢癌	24	8			2					
膵癌	64	5			1			1		
肺癌・転移性肺癌					3					
その他悪性腫瘍	4	6						1		
腹腔鏡(開腹)検査・生検	31	1	3		1		1	1		
胃腸吻合他バイパス手術	11	1			3	1	2			1
CVポート留置	12	36	25		30	30	28	11		9
人工肛門造設・閉鎖	29				3					
良性疾患	**821**	**773**	**187**	**194**	**258**	**105**	**146**	**110**	**285**	**543**
食道	7				3					
胃・十二指腸	3	1	2		9 (1)	1	1	4		1
小腸	20	1			1	2		1		4
大腸	34	8	29		2	4	7	1		4
肝・脾・膵	30	7			4 (2)					
胆石症・胆道系	223	77	48		53 (47)	36	30	12		30
乳腺	30		33		3		7	2		
ヘルニア(成人)	112	68	59		26 (11)	31	34	41		31
鼠径ヘルニア(小児)	171			112		2	6		64	
痔核・痔ろう	2				15	7	1	6		7
イレウス	17	12	4		5	6	7	4		9
外傷										39
血管関連		510			37		1	2		362
腹膜炎手術・腹腔ドレナージ	12	9			6			1		4
人工肛門造設・閉鎖	12	15	1		6		2	5		3
小児外科	120			68	1				177	
虫垂炎	24	11	10	14	17 (9)	16	15	8	44	17
肺					6					
胃瘻造設	4									36
その他疾患		54	1		46		35	23		

2011 年外科学講座関連病院手術症例数集計票

小松病院	宝塚病院	東朋香芝病院	藤本病院	牧病院	明生病院	吉田病院	若草第一病院	和田病院	病院名
96	**205**	**195**	**279**	**250**	**228**	**415**	**315**	**62**	**手術件数**
81	44	83	172	152	101	127	232		全身麻酔
	32	9	15	9	14	93	33		腰椎麻酔
15	129	103	92	89	113	195	50		局所麻酔
22	**14**	**30**	**49**	**70**	**29**	**14**	**86**		**悪性疾患**
			1						食道癌
2	7	9	16	7	9	2	21		胃癌
9	3	10	10	16	8	6	37		結腸癌
1	3	2	4	6	4	2	20		直腸癌
8		4	4	6			4		乳癌
	1	2	2	2	3		1		肝癌・転移性肝癌
									生体肝移植
		1							胆管癌・胆嚢癌
		1	1		1		1		膵癌
									肺癌・転移性肺癌
1		1	8		2	3	2		その他悪性腫瘍
				30	1				腹腔鏡(開腹)検査・生検
1			3	3	1	1			胃腸吻合他バイパス手術
7		22	16	34	36	7		16	CVポート留置
									人工肛門造設・閉鎖
67	**191**	**146**	**214**	**146**	**168**	**394**	**229**	**46**	**良性疾患**
			1						食道
	1	61	2		11	15	16		胃・十二指腸
	1		2		5	4	4		小腸
2	1	1	3	7	5	1	16	2	大腸
		2	1			2	3		肝・脾・膵
17	16	32	32	22	26	29	55	5	胆石症・胆道系
1		6	1	1			1		乳腺
24	23	13	42	29	23	19	45	5	ヘルニア(成人)
4									鼠径ヘルニア(小児)
4	4	6	26	25	2	33	24	7	痔核・痔ろう
1		5	7	8	3	1	16		イレウス
			多数			4			外傷
	79		20	3	62	181	4	13	血管関連
			1	3		6			腹膜炎手術・腹腔ドレナージ
3	4		11	3	5	4	24	1	人工肛門造設・閉鎖
							21		小児外科
11	8	11	17	6	8	15		3	虫垂炎
									肺
								8	胃瘻造設
	54	9	48	39	18	80		2	その他疾患

2011 年関西医科大学外科学講座業績集 (2011.1-12)

2012年1月に筆頭のみの業績報告を依頼し、回答があった順に記載

山中英治（若草第一病院）

論文 (5)

1. 山中英治. 末期がん患者の栄養管理のポイント. がんナーシング, 2011;1:261
2. 山中英治. 食道がん周術期, 実践・経腸栄養剤. ニュートリションケア, 2011 年春季増刊号（通巻 25 号）, 2011;102-112
3. Masakazu Hirose, Hideharu Yamanaka, Eiko Ishikawa, Atsuko Sai, Tomoyuki Kawamura: Easy and flexible carbohydrate counting sliding scale reduces blood glucose of hospitalized diabetic patient in safety, Diabetes Research Clinical Practice, 2011;93:404-409
4. 山中英治. 輸液療法患者に対するモニタリング, 薬事, 2011;53:1521-1525
5. 山中英治. 経口栄養・経腸栄養・静脈栄養の適応, ニュートリションケア 2011 年秋季増刊号（通巻 32 号）, 2011;130-136

発表 (10)

1. 山中英治. NST は誰のために？何のために？-NST は世のため, 人のために-, NST フォーラム シンポジウム,「チーム医療」を考える-活力ある NST を目指して-, 第 26 回日本静脈経腸栄養学会, 2011/2/18, 名古屋
2. 山中英治. お金では買えない価値がある NST, 特別講演, 第 14 回 NST を本音で語る会, 2011/5/21, 広島
3. 山中英治, 神林恵子, 丸山範子, 辻本美香, 西村智子, 糸田昌隆. 摂食回復支援食「あいーと」提供の意義と価値-経費 vs 食べる喜び-, 一般演題, 第 13 回日本医療マネジメント学会学術総会, 2011/6/25, 京都
4. 山中英治. 患者さんも職員も元気にする NST, 特別講演, 第 13 回大分 NST 研究会, 2011/6/11, 大分
5. 山中英治, 寺川直良, 北川克彦, 小田道夫. 周術期栄養管理における NST 介入の効果とポイント, ワークショップ, 第 36 回日本外科系連合学会学術集会, 2011/6/17, 千葉
6. 山中英治. 求められる薬剤師とチーム医療, 特別講演, 第 43 回大分県病院薬剤師会県南地区研修会, 2011/6/10,大分
7. 山中英治. 患者さんを元気にする NST, 特別講演, 第 13 回 OSAKA 漢方研究会, 特別講演, 2011/7/23, 大阪
8. 山中英治, 寺川直良, 北川克彦, 小田道夫, 小坂博久. 外科入院患者の栄養管理に及ぼす NST 加算の効果, ワークショップ, 第 73 回日本臨床外科学会総会, 2011/11/19, 東京
9. 山中英治. 経口・胃瘻栄養における形状変化の効果, -明日からの実践に役立つ話題-, シンポジウム, 第 5 回日本栄養材形状機能研究会, 2011/08/20, 東京
10. 山中英治. パスと NST:ますます拡がるチーム医療, シンポジウム, 第 21 回日本医療薬学会年会, 2011/10/01, 神戸

司会・座長 (5)

1. パネルディスカッション, NST によってもたらされたもの -過去・現在と将来展望-
   第 26 回日本静脈経腸栄養学会, 2011/2/18, 名古屋
2. 教育講演, NST の果たすべき役割と今後の課題, 第 13 回日本医療マネジメント学会学術総会, 2011/6/24, 京都
3. 一般演題, JSPEN2011 アンコールセッション, 第 6 回大阪 NST 研究会, 2011/7/2, 大阪
4. セミナー, わかる！できる！クリニカルパス-基本と実践-, 2011 年度クリニカルパス学会教育セミナー, 2011/07/09, 大阪
5. ランチョンセミナー, 理論的に理解してポートを使っていますか？, 第 16 回大阪病院学会, 2011/10/16, 大阪

セミナー講師 (6)

1. 症例に学ぶ-適切な栄養投与経路-第 9 回 PEN 入門セミナー, 2011/1/29, 大阪
2. 静脈栄養法の基礎・管理・合併症と対策, 2011 年春期日本静脈経腸栄養学会認定教育セミナー, 2011/2/19, 名古屋
3. 在宅における栄養管理, 東大阪市介護保険事業者連絡協議会平成 22 年度訪問看護事業者部会, 2011/3/16, 大阪
4. 静脈栄養法の基礎・管理・合併症と対策, 2011 年夏期日本静脈経腸栄養学会認定教育セミナー, 2011/7/3, 京都
5. NST とチーム医療連携, S-QUE 研究会新医療看護連携全国公開講座 vol.15, 2011/6/23, 衛星配信
6. 臨床で役立つ栄養管理の基礎知識, 日本看護協会継続教育研修, 2011/10/27, 神戸

e) その他 (1)

消化器疾患, 病態生理 DS, トレーニング DS シリーズ, メディカ出版, 大阪, 2011

北出浩章（講師, 滝井病院）

発表 (1)

北出浩章, 柳田英佐, 横井川規巨, 高田秀穂, 權 雅憲. 幕内基準逸脱例に対する肝葉切除—アシアロ糖蛋白受容体量測定による分肝機能評価の有用性—. 日本消化器外科学会 2011.7.15 名古屋

司会・座長 (1)

一般ポスターセッション 23 肝細胞癌③ 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 201106 東京 2011/6/8-10

講演 (2)

1.肝細胞癌に対する外科治療」守口市医師会 2011/10/1 守口ロイヤルパインズホテル

2. 消化器外科患者の栄養管理　大阪病院給食研究会　2011/9/9 関西医科大学滝井病院

大石賢玄（大学院生）

論文 (2)

1. Masaharu Oishi, Hiroki Hashida, Yoshiaki Yuba, and Arimichi Takabayashi. Pancreatic endometrial cyst: report of a case. Surgery Today 2011 41: 1011-1015.
2. 大石賢玄，辻　勝成，尾崎岳，北出浩章，高田秀穂，權　雅憲. Mirizzi 症候群が疑われた経皮的肝生検後の 2 次性胆嚢内血腫の 1 例.　日本臨床外科学会雑誌，2011 年，第 72 巻，983-989

発表 (2)

1. Masaharu Oishi, Tamami Kiyono, Kenji Sato, Yoshito Tanaka, Tadayoshi Okumura, Mikio Nishizawa, A-Hon Kwon. pyroGlu-Leu inhibits the induction of iNOS gene expression in proinflammatory cytokine-stimulated hepatocytes. International Conference and Exhibition on Nutraceuticals and Functional Foods, November 14-17, 2011. Sapporo Japan
2. 大石賢玄，徳原克治，奥村忠芳，權　雅憲. ラット潰瘍性大腸炎モデルにおけるiNOSの発現誘導，第66回日本大腸肛門病学会学術集会，平成 23 年 11 月 25,26 日，東京

松井陽一（講師，枚方病院）

論文 (1)

松井陽一，權　雅憲，高岡　亮. 傍乳頭総胆管十二指腸瘻. 別冊日本臨床，2011, No. 15, P. 533-536

尾崎　岳（助教，滝井病院）

発表 (2)

1. 尾崎　岳，中井宏治，上山庸佑，肱川健，道浦　拓，井上健太郎，中根恭司，權　雅憲. Spontaneous intratumoral bleeding and rupture of huge gastrointestinal stromal tumor.　国際胃癌学会, 2011.4.20~23,ソウル　韓国, 2011.4.20~23
2. 尾崎　岳，中井宏治，宮宗武史，福井淳一，山田正法，道浦　拓，井上健太郎，中根恭司，權　雅憲. 胃全摘術後に拳上空腸が肝十二指腸靭帯に癒着したために腸閉塞を来した症例. 胃外科・術後障害研究，2011.10.7～8,大阪千里ライフサイエンスセンター，2011.10.7～8

横井川規巨（助教，滝井病院）

発表 (1)

横井川規巨，中井宏治，尾崎　岳，肱川　健，吉田　良，北出浩章，今村　敦，高田秀穂，權　雅憲. 当院での外来化学療法の現状. 第73回日本臨床外科学会総会，２０１１年１１月１８日，東京

山本大悟（病院講師，枚方病院）

論文 (4)

1. Yamamoto D, Iwase S, Yoshida H, Kuroda Y, Yamamoto C, Kitamura K, Odagiri H, Nagumo Y. Efficacy of meloxicam in combination with preoperative chemotherapy for breast cancer - Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN) 02-1 trial. Anticancer Res. 2011 Oct;31(10):3567-71
2. Yamamoto D, Tsubota Y, Yoshida H, Kanematsu S, Sueoka N, Uemura Y, Tanaka K, Kwon AH. Endoscopic appearance and clinicopathological character of breast cancer. Anticancer Res. 2011 Oct;31(10):3517-20.
3. Yamamoto D, Hamada Y, Simultaneous development of adenocarcinoma and gastrointestinal stromal tumor (GIST) in the stomach: Report of a case. World Journal of Surgical Oncology, in press.
4. Iwase S, Yamamoto D, Kuroda Y, Kawaguchi T, Kitamura K, Odagiri H, Teramoto S, Akazawa K, Nagumo Y. Phase II trial of preoperative chemotherapy for breast cancer: Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN)-02 trial. Anticancer Res. 2011 Apr;31(4):1483-7.

発表 (3)

1. 山本大悟，吉田秀行，兼松清果，坪田　優，末岡憲子，權　雅憲. 乳がん治療におけるFDG-PET検査の有用性について　外科学会　東京 2011
2. 山本大悟，吉田秀行，兼松清果，坪田　優，末岡憲子，權　雅憲. 当院での FDG-PET 検査の有用性について. 乳癌学会　仙台 2011
3. Yamamoto D, Tsubota Y, Yoshida H, Kanematsu S, Sueoka N, Uemura Y, Tanaka K, Kwon AH.　Management strategy of early-stage breast cancer patients: With or without axillary lymph node dissection. Sanantoio, 2011

c) 司会・座長 (2)

1. 乳がん治療懇話会　2011/2/19　弘前大学外科

2. トリプルアセスメント研究会 2011/4/23 松下記念病院

荒木吉朗（上山病院）

論文 (2)

1. Yoshiro Araki, Miho Matsumiya, Takashi Matsuura, Masaki Kaibori, Tadayoshi Okumura, Mikio Nishizawa, A-Hon Kwon. Sivelestat Suppresses iNOS Gene Expression in Proinflammatory Cytokine-Stimulated Hepatocytes. Digestive diseases and Sciences, 56:1672-1681, 2011.
2. Yoshiro Araki, Miho Matsumiya, Takashi Matsuura, Masaharu Oishi, Masaki Kaibori, Tadayoshi Okumura, Mikio Nishizawa, Hideho Takada, A-Hon Kwon. Peroxidation of n-3 Polyunsaturated Fatty Acids Inhibits the Induction of iNOS Gene Expression in Proinflammatory Cytokine-Stimulated Hepatocytes. Journal of nutrition and metabolism, 2011. in press

発表 (8)

1. Y. Araki, Y. Hamada, K. Takada. Differential diagnosis is possible by antenatal ultrasonography between choledochal cyst and biliary atresia with cystic malformation. Pacific Association of Pediatric Surgery (PAPS), 2011.4.10, Cancun, Mexico
2. 荒木吉朗, 海堀昌樹, 松村伸治, 權 雅憲, 伊藤誠二. 生体吸収性ゲルの手術創埋込みによる鎮痛薬の徐放効果を用いた新しい術後鎮痛法.第 58 回日本生化学会近畿支部例会, 2011 年 5 月 2 1 日, 滝井
3. 荒木吉朗, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 權 雅憲. 安全な肝区域切除術を目指した当科での工夫, 第 66 回日本消化器外科学会総会,2011 年 7 月 15 日,名古屋
4. 荒木吉朗, 菱川秀彦, 木畑智哲, 高田晃平, 濵田吉則. 当科にて経験した若年性ポリープの検討, 第 48 回日本小児外科学会学術集会, 2011 年 7 月 22 日,東京
5. 荒木吉朗, 海堀昌樹, 松村伸治, 伊藤誠二, 權 雅憲. 生体吸収性ゲルの手術創埋込みによる鎮痛薬の徐放効果を用いた革新的な術後鎮痛法の開発. 日本ペインクリニック学会第 45 回大会, 2011 年 7 月 23 日,松山.
6. 荒木吉朗 松宮美保 松浦 節 大石賢玄 海堀昌樹 奥村忠芳 西澤幹雄 高田秀穂 權 雅憲. n-3 系高度不飽和脂肪酸 EPA/DHA の過酸化は肝細胞の一酸化窒素産生を阻害.第 84 回日本生化学会大会.2011 年 9 年 24 日,京都.
7. 荒木吉朗, 海堀昌樹, 吉開会美, 奥村忠芳, 西澤幹雄, 權 雅憲. ヒト癌組織における誘導型一酸化窒素合成酵素（iNOS）遺伝子のアンチセンス転写物の発現. 第 70 回日本癌学会学術集会, 2011 年 10 月 3 日,名古屋.
8. 荒木吉朗, 里井壯平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡 智, 山木 壮, 由井倫太郎, 高井惣一郎, 權 雅憲. 急性膵炎との関連が疑われた脾仮性嚢胞の 1 例.第 73 回日本臨床外科学会総会. 2011 年 11 月 19 日,東京

道浦 拓（助教, 枚方病院）

発表 (8)

1. 道浦 拓, 中根恭司, 三木博和, 向出裕美, 福井淳一, 山田正法, 中井宏治, 井上健太郎, 權 雅憲. 胃体上部早期胃がんに対する噴門側胃切除術, 第 83 回日本胃癌学会総会, 201103, 青森
2. Michiura T, Nakane Y, Fukui J, Mukaide H, Yamada M, Nakai K, Inoue K, Kwon AH. Clinical evaluation of pylorus preserving gastrectomy in gastric cancer. 9th International Gastric Cancer Congress, 201104, Seoul, Korea
3. 道浦 拓, 山道啓吾, 向出裕美, 福井淳一, 山田正法, 中井宏治, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. StageII/III 食道癌に対する治療戦略, 特に T3 症例に対する治療法について, 第 66 回日本消化器外科学会総会, 2011/7, 名古屋
4. 道浦 拓, 植田愛子, 中竹利知, 上山庸佑, 三木博和, 里井壯平, 中根恭司, 權 雅憲. 当科における鼠径ヘルニア手術の教育. 第 9 回日本ヘルニア学会学術集会, 2011/8 福岡
5. 道浦 拓, 山道啓吾, 福井淳一, 向出裕美, 山田正法, 中井宏治, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. 術前化学放射線療法の可能性について, 第 65 回日本食道学会学術集会, 2011/9, 仙台
6. 道浦 拓, 中根恭司, 井上健太郎, 向出裕美, 福井淳一, 山田正法, 中井宏治, 權 雅憲. 当科における噴門側胃切除の検討, 第 41 回胃外科・術後障害研究会, 2011/10 大阪
7. 道浦 拓, 山道啓吾, 福井淳一, 向出裕美, 山田正法, 中井宏治, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. 進行食道癌に対する術前化学放射線療法, JDDW2011 第 19 回日本消化器関連学会週間, 2011/11, 福岡
8. 道浦 拓, 井上健太郎, 福井淳一, 向出裕美, 山田正法, 中井宏治, 徳原克治, 岩本慈能, 中根恭司, 權 雅憲. 当科における幽門保存胃切除術（PPG), 第 73 回日本臨床外科学会総会, 2011/11, 東京

座長その他 (2)

1. 第 189 回近畿外科学会 201106, 大阪
2. サルベージ手術後 2 度の右腕頭動脈出血に対し, 血行再建により救命しえた頸胸境界部食道癌の 1 例, 第 17 回近畿過大侵襲研究会, 2011/6, 大阪, コメンテーター

中井宏治（助教, 滝井病院）

発表 (5)

1. 中井宏治，尾崎岳，福井淳一，向出裕美，山田正法，道浦拓，井上健太郎，中根恭司，權　雅憲，食道癌に対する化学放射線療法における Weekly Docetaxel の検討，第 7 回日本消化管学会，2011 年 2 月，京都
2. 中井宏治，尾崎　岳，山田正法，福井淳一，向出裕美，道浦　拓，井上健太郎，山道啓吾，中根恭司，權　雅憲，CY1 胃癌の治療成績，第 83 回日本胃癌学会，2011 年 3 月，三沢
3. Koji Nakai, Takashi Ozaki, Masanori Yamada, Taku Michiura, Kentaro Inoue, Keigo Yamamichi, Yasushi Nakane, A-Hon Kwon, **A** case of advanced gastric cancer with multiple liver metastasis successfully treated with combined chemotherapy of ts-1, cisplatin and docetaxel，第 9 回国際胃癌学会，2011 年 4 月，Seoul, Korea，21～23 日
4. 中井宏治，尾崎　岳，向出裕美，福井淳一，山田正法，道浦　拓，井上健太郎，山道啓吾，中根恭司，權　雅憲，後縦隔経路再建空腸が胸腔内ヘルニアをきたした 1 例，第 65 回日本食道学会，2011 年 9 月，仙台
5. 中井宏治，尾崎　岳，山田正法，福井淳一，向出裕美，道浦　拓，井上健太郎，中根恭司，權　雅憲，胃癌再発症例に対し 4 次化学療法にて Capecitabine+CDDP が有効であった 1 例，第 49 回日本癌治療学会，2011 年 10 月，名古屋

矢内洋次（大学院生）

論文 (2)

1. 矢内洋次，金田浩由紀，馬庭知弘，南健一郎，權　雅憲，齊藤幸人．生検後に急速増大を認めた肋骨原発軟骨肉腫の 1 手術例，日本呼吸器外科学会雑誌，2011 年，25 巻 1 号，　Page25-30
2. 矢内洋次，濵田吉則，高田晃平，中竹利知，石崎守彦，權　雅憲．血管型 Ehlers-Danlos 症候群 IV 型に合併した後腹膜血腫の 14 歳男児例，日本小児外科学会雑誌（in press）

発表 (1)

矢内洋次，山本大悟，吉田秀行，田中完児，小路徹二，山本智寿子，森　毅．乳がん術後地域連携クリニカルパスの導入と現状，日本乳癌学会学術総会，2011 年 9 月，仙台，9 月 2 日

里井壯平（講師，枚方病院）

論文 (11)

1. Satoi S, Toyokawa H, Yanagimoto H, Yamamoto T, Kamata M, Ohe C, Sakaida N, Uemura Y, Kitade H, Tanigawa N, Inoue K, Matsui Y, Kwon AH. Neo-adjuvant Chemoradiation Therapy Using S-1 Followed by Surgical Resection in Patients with Pancreatic Cancer. J Gastrointest Surg. 2011 Dec 9. [Epub ahead of print]
2. Satoi S, Yanagimoto H, Toyokawa H. Use of the new ultrasonically curved shear　in pancreaticoduodenectomy for periampullary cancer. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 Jul;18(4):609-14.
3. Satoi S, Yanagimoto H, Toyokawa H, Inoue K, Wada K, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S, Yui R, Mergental H, Kwon AH. Selective use of staging laparoscopy based on carbohydrate antigen 19-9 level and tumor size in patients with radiographically defined potentially or borderline resectable pancreatic cancer.　Pancreas. 2011 Apr;40(3):426-32.
4. Satoi S, Toyokawa H, Yanagimoto H, Yamamoto T, Hirooka S, Yui R, Yamaki S, Matsui Y, Kitade H, Tanigawa N, Takai S, Kwon AH.　Long-term results of surgical resection following pre-operative chemoradiation in patients with pancreatic cancer. Pancreas 2011 in press.
5. Satoi S. Discussion at the plenary session of the 22nd Congress of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 27 May 2010 J Hepatobiliary Pancreat Sci 2011; 18(2): discussion 239-240.
6. Satoi S. Discussion at the plenary session of the 22nd Congress of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 27 May 2010 J Hepatobiliary Pancreat Sci 2011; 18(2): discussion 246-9.
7. 里井壯平，宮崎浩彰，北村　臣，豊川秀吉，柳本泰明，山本智久，廣岡　智，山木　壮，由井倫太郎，道浦　拓，井上健太郎，松井陽一，中根恭司，權　雅憲．わかる!できる!クリニカルパス　基本と実践　地域連携パスを使った地域医療の質向上　胆膵癌のクリニカルパス　院内から院外へ(解説)　日本クリニカルパス学会誌 2011.10, 13 巻 3 号,218-221.
8. 海野倫明，上野秀樹，本田五郎，里井壯平，庄雅之，谷眞至，元井冬彦．膵癌に対する術前術後補助療法の現状と今後の展望(座談会)　日本消化器病学会雑誌, 2011.10, 108 巻 10 号　1676-1695
9. 里井壯平，豊川秀吉，柳本泰明，山本智久，廣岡　智，山木　壮，由井倫太郎，井上健太郎，松井陽一，權　雅憲．誌上ディベート　切除可能膵癌に有効な補助療法とは　術前補助化学放射線療法の立場から(解説)　膵・胆道癌 Frontier 2011.09, 1 巻 1 号, 20-23.
10. 里井壯平，豊川秀吉，柳本泰明，山本智久，廣岡　智，山木　壮，由井倫太郎，松井陽一，權　雅憲.【Borderline Resectable 膵癌をめぐって】膵癌切除患者における術前化学放射線療法と長期成績(解説/特集)　胆と膵　2011.07, 32 巻 7 号, 631-634.
11. 里井壯平，柳本泰明，豊川秀吉，山本智久，谷川　昇，廣岡　智，山木　壮，由井倫太郎，松井陽一，權　雅憲.【胆道・膵疾患の画像診断】膵疾患　膵癌　画像診断とその問題点(解説/特集)　消化器外科, 2011.073, 4 巻 8 号, 1231-1238

発表 (12)

1. Satoi S,Yanagimoto H,Toyokawa H, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S, Yui R, Michiura T, Inoue K, Matsui Y, Kwon AH. Clinical impact of staging laparoscopy in patients with radiographically defined locally advanced pancreatic cancer. IASGO　21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists,and Oncologists. 2011.11 Tokyo. 20111109－1111.

2. Satoi S, Toyokawa H, Yanagimoto H, Yamamoto T, Hirooka S, Yui R, Yamaki S, Matsui Y, Kwon AH. Long-term Results of Surgical Resection Following Pre-operative Chemoradiation in Patients with Pancreatic Cancer. The 34th Congress of the Korean Association of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. 201104 Seoul, Korea. 20110401－0402.
3. Satoi S, Toyokawa H, Yanagimoto H, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S, Yui R,, Inoue K, Michiura T, Kwon AH. Neoadjuvant chemoradiation therapy using S-1 for patients with pancreatic cancer. 4th AOPA & KPBA Joint Meeting of the 4th Asian-Oceanic Pancreas Association and 2011 Annual congress of the Korean Pancreatobiliary. 201109 Jeju, Korea 20110902－0903.
4. Satoi S, Toyokawa H, Yanagimoto H, Yamamoto T, Hirooka S, Yamaki S, Yui R, Kwon AH. Reinforcement of pancreticojejunostomy using polyglicolic acid mesh and fibrin glue sealant. the International Surgical Week ISW, 201108 Yokohama, 20110828－0901.
5. 里井壯平，豊川秀吉，柳本泰明，山本智久，廣岡 智，山木 壮，由井倫太郎，松井陽一，北出浩章，井上健太郎，道浦 拓，權 雅憲. 膵外進展を示す膵癌（UICC T3/4)に対する術前化学放射線療法後 R0 率を主要評価項目とした第Ⅱ相試験 第 73 回日本臨床外科学会総会 201111 東京 20111117-1119
6. 里井壯平，近藤 哲，山上裕機，加藤健太郎，廣野誠子，新地洋之，和田慶太，高田忠敬. 化学（放射線）療法が奏功している切除不能膵癌に対する外科切除の役割 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 201106 東京 20110608－0610
7. 里井壯平，豊川秀吉，山木 壮，柳本泰明，山本智久，廣岡 智，由井倫太郎，松井陽一，權 雅憲. 胆道疾患に対する膵頭十二指腸切除術における硬膜外麻酔の術後経過に及ぼす影響 第 47 回日本胆道学会学術集会 201109 宮崎 20110916－0917
8. 里井壯平，柳本泰明，豊川秀吉，山本智久，廣岡 智，山木 壮，由井倫太郎，松井陽一，北出浩章，權 雅憲. 膵癌に対する術前化学放射線療法の外科切除後短期成績の検討 第 42 回日本膵臓学会大会 201107 青森 20110729－0730
9. 里井壯平，豊川秀吉，柳本泰明，山本智久，廣岡 智，山木 壮，由井倫太郎，松井陽一，北出浩章，權 雅憲. 切除可能ならびに局所進行膵癌における S-1 併用術前化学放射線療法の功罪 第 66 回日本消化器外科学会総会 201107 名古屋 20110713－0715
10. 里井壯平，北村 臣，宮崎浩彰，松井陽一，權 雅憲. 大学病院消化器外科学教室における診療業務の可視化 第 13 回日本医療マネジメント学会学術総会 201106 京都 20110624－0625
11. 里井壯平，柳本泰明，豊川秀吉，山本智久，由井倫太郎，山木 壮，廣岡 智，松井陽一，權 雅憲. 膵頭十二指腸切除術における膵腸吻合部補強の効果 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 201106 東京 20110608－0610
12. 里井壯平，廣岡 智，柳本泰明，豊川秀吉，山本智久，山木 壮，由井倫太郎，松井陽一，權 雅憲. 膵頭十二指腸切除術における自己血輸血療法の導入効果 第 111 回日本外科学会定期学術集会 201105 東京 201105 誌上開催

座長 (6)

1. IASGO 21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists,and Oncologists. 2011.11 Tokyo. 20111109－1111.
2. 肝胆膵・膵臓症例（1） 第 24 回日本内視鏡外科学会総会 201112 大阪 20111207－1209
3. 膵臓 13 第 73 回日本臨床外科学会総会 201111 東京 20111117－1119
4. 膵臓 1 第 190 回近畿外科学会 201111 大阪 20111126
5. 要望ビデオセッション3 膵頭尾部癌における郭清 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 201106 東京 20110608－0610
6. 胃② 第 47 回日本腹部救急医学会総会 201103 福岡 20110317－0318

講演 (13)

1. SessionⅢ 膵癌 膵癌に対する術前化学放射線治療後の膵切除術 第 15 回横浜外科癌フォーラム 201108 横浜 20110827
2. 2011 年度クリニカルパス教育セミナー テーマ わかる！できる！クリニカルパス～基本と実践～ 日本クリニカルパス学会 201107 大阪 20110709
3. Satoi S, Toyokawa H, Yanagimoto H, Yamamoto T, Kwon AH. 特別企画3 Meet Korean HBP Surgeons Neoadjuvant chemoradiation therapy for patients woth pancreatic cancer 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会日本・韓国 膵臓外科カンファレンス Meet Korean HBP Surgeons 201106 東京 20110608－0610
4. バリアンス分析と地域連携パスの実際 関西医科大学附属枚方病院院内パス大会 201103 大阪 20110310
5. S-1-radiation による膵癌術前治療の成績 JASPAC 01 2010 年度第 2 回 Meeting 201101 静岡 20110122
6. 膵癌の集学的治療 第1回 Ohmi Pancreatobiliary Workshop 201111 滋賀 20111104
7. 関西医科大学附属病院における消化器癌地域連携パス導入への道 北河内外科フォーラム 2011 201110 大阪 20111015
8. S-1 隔日投与多施設共同臨床試験中間報告 抗癌剤至適投与法（膵癌）検討会 201110 名古屋 20111027
9. パンクレリパーが製剤の脂肪肝発生予防に関する他施設共用 randmized PhaseⅡstudy PEI (Pancreatic Exocrine Insufficiency)研究会 201109 大阪 20110922
10. 当科における膵癌の治療戦略 第 23 回北大阪消化器病勉強会 201109 大阪 20110917
11. リパクレオン脂肪肝発生予防臨床研究 PEI (Pancreatic Exocrine Insufficiency)セミナー 201108 大阪 20110809
12. 膵胆道疾患のクリニカルパス−地域連携パスへの道− Cancer Pain Web Conference 201107 大阪 20110701
13. 術前放射線化学療法の長期成績と新たな取り組み 阪奈胆膵外科研究会 201104 大阪 20110420

吉岡和彦（病院教授，香里病院）

論文 (2)

1. 吉岡和彦，中根恭司，權 雅憲. 腹腔鏡下直腸固定術，消化器外科 NURSNG 2011; 16: 87

2. 吉岡和彦, 岡崎　智, 岩本慈能, 徳原克治, 中根恭司, 權　雅憲. 便失禁症の治療, 外科治療　2011;　105:68-74

発表 (2)

1. 吉岡和彦, 畑　嘉高, 岡崎　智, 徳原克治, 岩本慈能, 中根恭司, 權　雅憲. 直腸癌患者における有茎薄筋移植肛門再建術と内括約筋切除肛門温存術の術後排便機能の比較検討, 第 111 回日本外科学会　ワークショップ, 2011.05.28,　東京（誌上発表）
2. 吉岡和彦, 畑　嘉高, 岡崎　智, 徳原克治, 岩本慈能, 中根恭司, 權　雅憲. 便失禁に対する有茎薄筋移植の検討, 第 66 回日本大腸肛門病学会ビデオシンポジウム, 2011.11.25　東京

司会, 座長 (6)

1. Session　2, 16th Conference on Colorectal and Anal Function, 2011.07.30　Tokyo
2. セッション 5　直腸脱・便通異常, 第 17 回大腸肛門機能障害研究会　2011.09.06　東京
3. 吉岡和彦. 奥田準二, ワークショップ, 大腸癌, 第 24 回近畿内視鏡外科研究会　2011.10.15　大坂
4. 大腸 9, 第 73 回日本臨床外科学会　2011.11.17　東京
5. 吉岡和彦. 高尾良彦, ビデオシンポジウム 3　便失禁の外科的治療, 第 66 回日本大腸肛門病学会　2011.11.25　東京
6. 併存疾患手術, 第 24 回日本内視鏡外科学会　2011.12.09　大坂

講演 (2)

1. 排便機能障害と新肛門造設術, 平成 23 年寝屋川医師会・関西医科大学香里病院懇談会　2011.01.29　大坂
2. 大腸の病気と排便異常, 関西医科大学市民公開講座　2011.10.08　寝屋川

松宮美保（大学院生）

発表 (1)

松宮美保, 海堀昌樹, 荒木吉朗, 松浦　節, 奥村忠芳, 濱田吉則, 西澤幹雄, 權　雅憲. 漢方薬補中益気湯の肝臓保護効果の検討 - invitro 肝細胞を用いたスクリーニング, 日本外科代謝栄養学会第 48 回学術集会 - 2011 年 7 月 7-8 日　名古屋

吉田　良（講師, 滝井病院）

論文 (1)

吉田　良　高田秀穂　權　雅憲. Composix Mesh[R]を用いて腹腔鏡下に修復した Morgagni 孔ヘルニアの 1 例. 日本外科系連合学会誌, 2011;36 巻:713-717

発表 (2)

1. 吉田　良, 文岡礼雅, 佐伯久美　三頭佐知子, 弥山秀芳, 高田秀穂, 權　雅憲. 終末期がん患者に対する, 人工肛門造設手術の有効性の検討と術後ケアにおける問題点:日本緩和医療学会総会:2011 年 7 月札幌
2. 吉田　良, 上山庸佑, 山尾　順, 宮宗武史, 肱川　健, 横井川規巨, 柳田英佐, 中井宏治, 北出浩章, 高田秀穂, 權　雅憲. 消化器外科における緩和医療とのかかわり:日本消化器外科学会総会:2011 年 7 月名古屋

山木　壮（大学院生）

発表 (9)

1. 山木　壮, 里井壮平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山本智久, 池浦　司, 島谷昌明, 高岡　亮, 岡崎和一, 大江千里, 植村芳子, 坂井田紀子, 由井倫太郎, 廣岡　智, 權　雅憲. 膵癌における治療前組織・細胞診断率の改善策, 第１１１回外科学会総会 5/26-28 東京
2. 山木　壮, 里井壮平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡　智, 由井倫太郎, 松井陽一, 權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術におけるドレーン早期抜去の膵液瘻に対する影響の再評価, 第６６回消化器外科学会　7/13-15 名古屋
3. 山木　壮, 豊川秀吉, 里井壮平, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡　智, 由井倫太郎, 松井陽一, 權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術における硬膜外麻酔の術後経過に及ぼす影響, 第２３回肝胆膵外科学会　6/8-10 東京
4. 山木　壮, 里井壮平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡　智, 由井倫太郎, 松井陽一, 權　雅憲. 巨大膵腺房細胞癌切除後の 2 回の再発病変に対して集学的治療を行い 3 年生存中の 1 例, 第４２回膵臓学会　7/29-30 弘前
5. 山木　壮, 里井壮平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡　智, 由井倫太郎, 松井陽一, 權　雅憲. 悪性疾患に対する膵頭十二指腸切除術における新規超音波凝固切開装置の臨床的評価, 第３８回膵切研究会 8/26-27 久留米
6. So Yamaki, Hideyoshi Toyokawa, Sohei Satoi, Hiroaki Yanagimoto, Tomohisa Yamamoto Satoshi Hirooka, Rintaro Yui, Kentaro Inoue, Taku Michiura, A-Hon Kwon. The detrimental effect of the Epidural anaesthesia and analgesia after pancreaticoduodenectomy. Asia Oseania Pancreatic Association 2011 9/2-4 Jeju(Korea)
7. So Yamaki, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Hiroaki Yanagimoto, Tomohisa Yamamoto, Satoshi Hirooka, Rintaro Yui, A-Hon Kwon. Introduction of a clinical pathway for patients undergoing pancreaticoduodenectomy at the University hospital. International Surgical Week(ISW2011) 8/28-9/1 横浜
8. 山木　壮, 里井壮平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山本智久, 廣岡　智, 由井倫太郎, 井上健太郎, 松井陽一, 權　雅憲. 膵頭十二

指腸切除術クリニカルパスの導入とアウトカム達成率からみた周術期管理の標準化 -7 年間の使用によるアウトカムの変遷-（ワークショップ），第73回臨床外科学会 11/17-19 東京

9. S. Yamaki, S. Satoi, H. Toyokawa, H. Yanagimoto, T. Yamamoto, S. Hirooka, R. Yui, Y. Matsui, AH. Kwon..Clinical effect of a clinical pathway for patients undergoing pancreaticoduodenectomy at the University hospital. 韓国肝胆膵外科学会 4/2 Seoul (Korea) (poster award 受賞)

中谷和義（専修医，枚方病院）

発表 (1)

中谷和義，石崎守彦，坂口達馬，海堀昌樹，松井康輔，權 雅憲．肝癌と鑑別困難であった肝膿瘍に対し腹腔鏡下肝切除術を施行した1例．近畿外科学会 2011 年 11 月 26 日 国際交流センター

井上健太郎（助教，枚方病院）

論文 (1)

K. Inoue, Y. Nakane, M. Kogire, K. Fujitani, Y. Kimura, H. Imamura, S. Tamura, S. Okano, A.H. Kwon, Y. Kurokawa, T. Shimokawa, H. Takiuchi, T. Tsujinaka, H. Furukawa. Phase II trial of preoperative S-1 plus cisplatin followed by surgery for initially unresectable locally advanced gastric cancer. European Journal of Surgical Oncology, in press

発表 (4)

1. K. Inoue, Y. Nakane, M, T. Michiura, M. Yamada, H. Mukaide, J. Fukui, H. Miki, T. Kanbara, S. Kim, K. Nakai, M. Kon. Laparoscopic overlap Roux-en-Y reconstruction in distal gastrectomy. 9th International Gastric Cancer Congress, 2011, Korea, April 20-23
2. 井上健太郎，中根恭司，小切匡史，藤谷和正，木村豊，今村博司，田村茂行，岡野晋治，黒川幸典，下川敏雄 ，古河 洋．高度進行胃癌に対する術前 TS-1/CDDP 療法＋外科切除 第 2 相臨床試験．第 83 回 日本胃癌学会，2011，青森，3 月
3. 井上健太郎，辻仲利政，中根恭司，今村 博，木村 豊，大島一輝，松山仁，辰巳満俊，下川敏雄，黒川幸典，權 雅憲，古河洋．手術部位感染に対する危険因子の検討 （胃癌に対する幽門側胃切除後の予防的抗生物質投与の必要性に関する第 III 試験 OGSG0501 付随研究）．第 111 回 日本外科学会 2011，紙上開催
4. 井上健太郎，山田正法，道浦 拓，福井淳一，向出裕美，三木博和，金 成泰，神原達也，中根恭司，權 雅憲．腹腔鏡下幽門側胃切除における Overlap 法での Roux-en-Y 再建の有用性．第 66 回日本消化器外科学会総会，2011 年，名古屋，7 月

小田道夫（若草第一病院）

発表 (1)

小田道夫，寺川直良，北川克弘，山中英治．腎周囲に膿瘍形成した十二指腸穿孔の一例，日本臨床外科学会，2011 年，11 月，東京

金 成泰（助教，香里病院）

発表 (2)

1. 金 成泰，豊川秀吉，山尾順，里井壮平，柳本泰明，山本智久，廣岡 智，山木壮，由井倫太郎，松井陽一，權 雅憲．ラット膵癌に対する Angiotensin II type1 receptor antagonist の抗腫瘍効果と VEGF 抑制：日本消化器外科学会：2011 年7月，名古屋
2. 金 成泰，岡崎 智，神原達也，吉田秀行，兼松清果，吉岡和彦．胃癌症例に対する PEG-J カテーテルの使用経験：日本臨床外科学会：2011 年 11 月，東京

海堀昌樹（講師，枚方病院）

論文 (11)

1. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kwon AH. Postoperative infectious and non-infectious complications after hepatectomy for hepatocellular carcinoma. Hepatogastroenterology, 58(110-111):1747-1756, 2011
2. Kaibori M, Ha-Kawa SK, Maehara M, Ishizaki M, Matsui K, Sawada S, Kwon AH. Usefulness of Tc-99m-GSA scintigraphy for liver surgery. Ann Nucl Med, 25(9):593-602, 2011
3. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kwon AH. Intraoperative indocyanine green fluorescent imaging for prevention of bile leakage after hepatic resection. Surgery, 150(1):91-98, 2011
4. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kitade H, Matsui Y, Kwon AH. Evaluation of metabolic factors on the prognosis of patients undergoing resection of hepatocellular carcinoma,J Gastroenterol Hepatol, 26(3):536-543, 2011
5. Kaibori M, Iwamoto Y, Ishizaki M, Matsui K, Yoshioka K, Asano H, Kwon AH. Predictors and outcome of early recurrence after resection of hepatic metastases from colorectal cancer. Langenbecks Arch Surg, in press, 2011
6. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kwon AH. Clinicopathological characteristics of patients with non-B non-C hepatitis virus hepatocellular carcinoma after hepatectomy. Am J Surg, in press, 2011

7. Kaibori M, Tanigawa N, Kariya S, Ikeda H, Nakahashi Y, Hirohara J, Koreeda C, Seki T, Sawada S, Okazaki K, Kwon AH. A prospective randomized controlled trial of preoperative whole-liver chemolipiodolization for hepatocellular carcinoma. Dig. Dis Sci, in press, 2011
8. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 中竹利知, 田嶋佐和子, 宮内拓史, 東野幸枝, 斉田　茜, 大北沙由利, 中島せい子, 木村穣, 權　雅憲.【消化器癌をめぐる栄養療法】障害肝合併肝細胞癌患者の肝切除周術期における運動・栄養療法の臨床効果, 消化器内科, 52(6):611-616, 2011
9. 海堀昌樹, 權　雅憲. 肝疾患　その他の肝腫瘍,消化器外科学レビュー, 98-105, 2011/5
10. 海堀昌樹, 權　雅憲.【肝細胞癌診療のトピックス】肝細胞癌治療前後の補助療法, 消化器外科, 34(7):1109-1116, 2011
11. 海堀昌樹. 消化器外科領域における臨床応用例　4. 術中胆汁瘻の確認. PDE　Photodynamic Eye Hand Book, 監修・編集 草野満夫、浜松ホトニクス社, 2011

発表 (43)

1. Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Iwamoto S, Kwon AH. Predictors and Outcome of Early Recurrence after Resection of Hepatic Metastases of Colorectal Cancer. 一般（ポスター）, The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Bangkok, Thailand, 2011/2/17-20
2. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Iwamoto S, Kwon AH. Timing of Resection for Synchronous Liver Metastases from Colorectal Cancer. 一般（ポスター）, The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Bangkok, Thailand, 2011/2/17-20
3. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kwon AH. Perioperative Rehabilitation with Diet and Exercise in Cirrhotic Patients with Hepatocellular Carcinoma Undergoing Hepatectomy. 一般（ポスター）, The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Bangkok, Thailand, 2011/2/17-20
4. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kwon AH. Evaluation of Metabolic Factors on the Prognosis of Patients Undergoing Resection of Hepatocellular Carcinoma. 一般（ポスター）The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Bangkok, Thailand, 2011/2/17-20
5. Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M,　Kwon AH. Postoperative Infectious and Noninfectious Complications after Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma. 一般（ポスター）, The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Bangkok, Thailand, 2011/2/17-20
6. Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M,　Kwon AH. Hepatic Resection for Hepatocellular Carcinoma in the Elderly. 一般（ポスター）, The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Bangkok, Thailand, 2011/2/17-20
7. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Kwon AH. Intraoperative Indocyanine Green Fluorescent Imaging for Prevention of Bile Leakage after Hepatic Resection. 一般（ポスター）, The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver, Bangkok, Thailand, 2011/2/17-20
8. Kaibori M, Adachi Y, Shimo T, Okumura T, Nishizawa M, Kwon AH. Stimulation of liver regeneration after hepatectomy in mice by injection of bone marrow mesenchymal stem cells via portal veins. 一般（ポスター）, 12th Congress of the Asian Society of Transplantation (CAST2011), Seoul, Korea, 2011/9/25-28
9. Kaibori M,Matsui K,Ishizaki M, Kwon AH. Clinicopathological characteristics of patients with non-B non-C hepatitis virus hepatocellular carcinoma after hepatectomy. シンポジウム, IASGO　21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologist, Tokyo, 2011/11/9-12
10. Kaibori M, Ishizaki M, Matsui K, Matsushima H, Nakatake R, Tsuda T, Kwon AH. Prevention of bile leakge after hepatic resection using intraoperative indocyanine green fluorescent imaging. シンポジウム, IASGO　21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologist and Oncologist, Tokyo, 2011/11/9-12
11. Kaibori M, Adachi Y, Shimo T, Okumura T, Nishizawa M, Kwon AH. Stimulation of liver regeneration after hepatectomy in mice by injection of bone marrow mesenchymal stem cells via portal veins. 一般（ポスター）, IASGO　21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologist and Oncologist, Tokyo, 2011/11/9-12
12. 海堀昌樹, 石崎守彦, 中竹利知, 松井康輔, 權　雅憲. 肝硬変併存肝癌肝切除周術期の栄養・運動療法を組み合わせた包括的リハビリテーションの臨床効果. High Scientific Papers, 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 東京, 2011/6/8-10
13. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 津田　匠, 中竹利知, 徳原克治, 岩本慈能, 權　雅憲. 大腸癌転移性肝癌の肝切除後早期再発に対する予後因子の検討. ミニシンポジウム, 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 東京, 2011/6/8-10
14. 海堀昌樹, 津田　匠, 石崎守彦, 松井康輔, 進藤　典, 健山智子, 陳　延偉, 權　雅憲. 当科での肝臓切除手術における術前画像支援技術の開発. ミニビデオシンポジウム, 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 東京, 2011/6/8-10
15. 海堀昌樹, 中竹利知, 石崎守彦, 松井康輔, 津田　匠, 松島英之, 松井陽一, 權　雅憲. 当科での肝切除症例における血液製剤適正用の検討. サージカルフォーラム, 第 111 回日本外科学会定期学術集会 ,紙上開催
16. 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 松島英之, 中竹利知, 津田　匠, 權　雅憲. 当科での高齢者肝細胞癌肝切除術に対する外科治療成績～手術回避例を含めた検討～. シンポジウム, 第 36 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2011/6/16-17
17. 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 中竹利知, 津田　匠, 徳原克治, 岩本慈能, 權　雅憲. 大腸癌肝転移に対する分子標的薬による術前補助化学療法による外科治療成績. シンポジウム, 第 36 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2011/6/16-17
18. 海堀昌樹, 津田　匠, 石崎守彦, 松井康輔, 權　雅憲, 進藤　典, 増田　優, 健山智子, 陳　延偉. 肝臓外科における Computer Assisted Diagnosisシステムによる肝切除シュミレーション. ワークショップ, 第36回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2011/6/16-17
19. Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Kimura Y, Kwon AH. Perioperative Rehabilitation with Diet and Exercise in Cirrhotic Patients

with Hepatocellular Carcinoma Undergoing Hepatectomy. (国際)シンポジウム, 日本外科代謝栄養学会第 48 回学術集会, 名古屋, 2011/7/7-8

20. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 權 雅憲. メタボリックシンドローム関連因子を合併した肝細胞癌切除成績の検討. 要望一般, 日本外科代謝栄養学会第 48 回学術集会, 名古屋, 2011/7/7-8
21. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 津田 匠, 中竹利知, 權 雅憲. 当科での肝切除後合併症ゼロを目指した種々の工夫. シンポジウム, 第 66 回日本消化器外科学会総会, 名古屋, 2011/7/13-15
22. 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 權 雅憲. A prospective randomaized controlled trial of preoperative whole-liver chemolipiodolization for hepatocellular carcinoma, (肝細胞癌外科的切除前の局所もしくは全肝経皮経肝動脈塞栓化学療法の有効性に関するランダム化 3 群間比較試験. 一般, 第 70 回日本癌学会学術集会, 名古屋, 2011/10/3-5
23. 海堀昌樹, 木村 穣, 權 雅憲. 障害肝合併肝細胞癌患者の肝切除周術期における運動・栄養療法の臨床効果. シンポジウム, JDDW2011 第 19 回日本消化器関連学会週間, 福岡, 2011/10/20-23
24. 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 松島英之, 中竹利知, 津田 匠, 權 雅憲. 当科での肝細胞癌切除手術における術前画像支援技術開発と術後再発抑止を目指した周術期包括的リハビリテーションの導入. 一般(ポスター), JDDW2011 第 19 回日本消化器関連学会週間, 福岡, 2011/10/20-23
25. 海堀昌樹, 松井康輔, 權 雅憲. 肝細胞癌周術期感染症合併症の評価とその予防対策, ワークショップ, JDDW2011 第 19 回日本消化器関連学会週間, 福岡, 2011/10/20-23
26. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 權 雅憲. 肝癌術前局所・全肝経皮経肝動脈塞栓化学療法の有効性に関するランダム化比較試験. ワークショップ, 第 49 回日本癌治療学会学術集会, 名古屋, 2011/10/27-29
27. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 木村 穣, 權 雅憲. 肝癌術後再発抑制を目的とした周術期包括的リハビリテーションの臨床効果. 一般, 第 49 回日本癌治療学会学術集会, 名古屋, 2011/10/27-29
28. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 津田 匠, 松島英之, 進藤 典, 健山智子, 陳 延偉, 權 雅憲. 肝臓外科と理工学部連携による肝切除手術における術前シミュレーションの開発と応用. シンポジウム, 第 73 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2011/11/17-19
29. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 中竹利知, 中村竜也, 權 雅憲. 肝硬変併存肝細胞癌切除術における術中予防的抗菌薬 3 時間投与レジメンは本当に適切か？ ワークショップ, 第 73 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2011/11/17-19
30. 海堀昌樹, 永野浩昭, 土師誠二, 林 道廣, 松井康輔, 石崎守彦, 權 雅憲, 丸橋 繁, 廣川文鋭, 上西崇弘, 竹村茂一, 久保正二. 大阪府内 33 施設における肝切除手術手技報告. 一般, 第 73 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2011/11/17-19
31. 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 松島英之, 中竹利知, 權 雅憲. 肝細胞癌術後感染性合併症の評価とその予防対策. パネルディスカッション, 第 24 回日本外科感染症学会総会, 三重, 2011/12/1-2
32. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 中竹利知, 津田 匠, 坂口達馬, 權 雅憲. 医療経済効果よりみた肝切除後難治性胆汁瘻防止の重要性. ワークショップ, 第 24 回日本外科感染症学会総会, 三重, 2011/12/1-2
33. 海堀昌樹, 松井康輔, 權 雅憲. 当科における非 B 非 C 型肝細胞癌切除例の現状と外科治療成績改善のための展望. パネルディスカッション, 第 39 回日本肝臓学会西部会, 岡山, 2011/12/9-10
34. 海堀昌樹, 永野浩昭, 土師誠二, 林 道廣, 松井康輔, 石崎守彦, 權 雅憲, 丸橋 繁, 廣川文鋭, 上西崇弘, 竹村茂一, 久保正二. 5 大学およびその関連 33 施設における肝切除手術手技報告. 一般, 第 39 回日本肝臓学会西部会, 岡山, 2011/12/9-10
35. 海堀昌樹. 外科領域における分子標的薬の役割. シンポジウム, 第 2 回大阪外科 HCC 分子標的治療セミナー, 大阪, 2011/5/18
36. 海堀昌樹. 大阪府内関連病院からの手術手技報告Ⅱ. 一般, 第 2 回肝臓外科医育成の会, 大阪, 2011/6/18
37. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 權 雅憲. 非 B 非 C 型肝細胞癌の発癌および術後再発における血清 PIVKA-Ⅱの有用性. 一般(ポスター), 第 47 回日本肝癌研究会, 静岡, 2011/7/28-29
38. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 權 雅憲. 安全な拡大肝切除術を目指した当科での工夫. 一般(ポスター), 第47回日本肝癌研究会, 静岡, 2011/7/28-29
39. 海堀昌樹, 久保正二, 上西崇弘, 竹村茂一, 永野浩昭, 丸橋 繁, 廣川文鋭, 林 道廣, 土師誠二, 石崎守彦, 松井康輔, 權 雅憲. 肝細胞癌切除後 10 年無再発経過後の肝癌再発症例の検討. ワークショップ, 第 47 回日本肝癌研究会, 静岡, 2011/7/28-29
40. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 津田 匠, 中竹利知, 松島英之, 坂口達馬, 權 雅憲, 進藤 典, 健山智子, 陳 延偉. 肝細胞癌外科治療における術前シミュレーションの開発と応用. シンポジウム, 第 46 回近畿肝癌談話会, 大阪, 2011/8/27
41. 海堀昌樹. 関西医大肝臓外科における最近の手術手技工夫と今後の展望. ワークショップ, 第 1 回立命館大学 R-GIRO RNA 研究会, 草津, 2011/8/3
42. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 中竹利知, 木村 穣, 宮内拓史, 柳田優子, 田嶋佐和子, 權 雅憲. 肝細胞癌切除後の周術期における運動療法の臨床効果. 一般, 第 30 回臨床運動療法研究会, 横浜, 2011/8/27
43. 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 津田 匠, 中竹利知, 權 雅憲. ICG 赤外観察カメラシステムを用いた肝切除術後難治性胆汁瘻の防止対策. シンポジウム, 第 4 回蛍光 Navigation Surgery 研究会, 東京, 2011/10/15

座長 (7)

1. 転移性肝癌③. 要望ポスター, 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 東京, 2011/6/8-10
2. 胆手術 集学的治療. 一般, 第 66 回日本消化器外科学会総会, 名古屋, 2011/7/13-15
3. 肝胆膵領域における手術シミュレーション 1,主題関連一般, 第 73 回日本臨床外科学会総会,東京,2011/11/17-19,
4. 臓 1,一般, 第 189 回近畿外科学会, 大阪, 2011/6/4

5. 最新の modality を活用した肝癌の手術計画. 特別講演,第 53 回京都肝疾患懇話会, 京都, 2011/7/9
6. 一般演題 2 胆嚢. 一般, 第 24 回近畿内視鏡外科研究会, 大阪, 2011/10/15
7. 肝臓 1,一般. 第 190 回近畿外科学会, 大阪, 2011/11/26

講演 (11)

1. 肝臓癌手術周術期の運動療法を中心とした包括的リハビリテーションの効果. 特別講演, 第 2 回北河内肝臓病セミナー, 大阪, 2011/1/29
2. 肝癌肝切除周術期の包括的リハビリテーションの臨床効果, 特別講演(ランチョンセミナー), 第 66 回日本消化器外科学会総会,名古屋,2011/7/13-15
3. 肝臓外科における最新の手術手技, 肝・栄養アドバイザリーカンファレンス, 20110507, 大阪
4. 肝臓外科における画像支援技術の開発と応用, 第 1 回医工学部連携研究会, 20110502, 大阪
5. 肝臓外科におけるナビゲーションシステムの開発, 第 2 回医工学部連携研究会, 20111219, 草津
6. 肝臓手術術前シミュレーションとしてのレプリカモデルの産学共同開発の提案, 京都中小企業経営革新支援機関主催, 20110817, 京都
7. 関西医科大学・肝臓外科における現状と展望, テルモ株式会社主催「最新の医療」勉強会, 20110922, 小田原
8. 障害肝切除術における BCAA 製剤の役割, 味の素社内勉強会, 20111012, 大阪
9. 関西医科大学・肝臓外科における現状と展望, 大塚製薬社内勉強会, 20111221, 大阪
10. 『大阪チャレンジ教室』肝臓の働きと病気の原因と予防についてラジオ大阪, 20110822, 大阪
11. 『大阪チャレンジ教室』肝臓癌治療と肝臓移植について, ラジオ大阪, 20110829, 大阪

山道啓吾（済生会泉尾病院）

発表 (10)

1. 山道啓吾, 道浦 拓, 福井淳一, 植田愛子, 中竹利知, 斎藤卓也, 中井宏治, 元廣高之, 中根恭司, 權 雅憲. T4 食道癌に対する治療法の選択;planed CRT か, definitive CRT か？ 第 65 回日本食道学会学術集会 シンポジウム 2011/09/26 仙台
2. 山道啓吾, 齊藤卓也, 植田愛子, 中竹利知, 田中宏典, 元廣高之. 単孔式腹腔鏡下胆摘術の適応拡大. 第 24 回日本内視鏡外科学会総会 シンポジウム 2011/12/07-09 大阪
3. 山道啓吾, 道浦拓, 岩井愛子, 中竹利知, 斎藤卓也, 福井淳一, 中井宏治, 井上健太郎, 元廣高之, 中根恭司, 權 雅憲. 他臓器浸潤進行食道癌に対する治療方針. 第 111 回日本外科学会定期学術集会 サージカルフォーラム 2011/05/25 東京
4. 山道啓吾, 斎藤卓也, 中竹利知, 植田愛子, 元廣高之. 単孔式腹腔鏡下胆摘術におけるわれわれの工夫. 第 66 回日本消化器外科学会総会 要望ビデオ 2011/07/13-15 名古屋
5. 山道啓吾, 道浦 拓, 斎藤卓也, 福井淳一, 中井宏治, 元廣高之, 中根恭司, 權 雅憲. 他臓器浸潤進行食道癌に対する治療方針. 第 64 回日本胸部外科学会定期学術集会 口演 2011/10/09-12 名古屋
6. 山道啓吾, 道浦拓, 齊藤卓也, 福井淳一, 植田愛子, 中竹利知, 田中宏典, 中井宏治, 元廣高之, 中根恭司, 權雅憲. 胸部食道癌における胃管作成と食道・胃管吻合術の工夫. 第 73 回日本臨床外科学会総会 主題関連演題 2011/11/17-19 東京
7. 山道啓吾, 岩井愛子, 中竹利知, 齊藤卓也, 元廣高之. 開腹既往症例に対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術. 第 3 回単孔式内視鏡手術研究会 口演 2011/02/19 東京
8. 山道啓吾. 胸部食道癌手術における頸部食道胃管吻合術の工夫. 第 10 回消化器外科手術を考える若手懇談会 口演 2011/07/09 大阪
9. 山道啓吾, 斎藤卓也, 中竹利知, 植田愛子, 田中宏典, 元廣高之. EZ アクセスを用いた単孔式腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP 法)の経験. 第 4 回単孔式内視鏡手術研究会 口演 2011/08/27 東京
10. 山道啓吾, 斎藤卓也, 中竹利知, 植田愛子, 田中宏典, 元廣高之. 単孔式腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP 法)の導入と工夫. 第 6 回関西ヘルニア研究会 口演 2011/12/10 大阪

座長 (2)

1. 特別講演. 第 584 回大阪外科集談会 2011/11/12 大阪
2. 一般演題 食道良性・症例(2). 第 24 回日本内視鏡外科学会総会 2011/12/07-09 大阪

中竹利知（済生会泉尾病院）

論文 (1)

中竹利知, 井上健太郎, 大江千里, 道浦 拓, 福井淳一, 中根恭司, 權 雅憲. 小腸内視鏡点墨後に腹腔鏡補助下に切除したコレステリン塞栓による多発小腸狭窄の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌, 2011, 72(1);88-92

発表 (5)

1. 中竹利知, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 松島英之, 津田 匠, 權 雅憲. 当科での肝細胞癌術後肝不全の評価とその予防対策. 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2011 年 6 月, 東京
2. 中竹利知, 石崎守彦, 海堀昌樹, 松井康輔, 松島英之, 權 雅憲. GSA アシアロシンチによる術前区域別分肝機能評価に基づいた安全な肝葉切除術. 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2011 年 6 月, 東京
3. 中竹利知, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 松島英之, 權 雅憲. 問題症例検討会 診断 1－2 症例. 第 47 回日本肝癌研究

会, 2011 年 7 月, 静岡
4. 中竹利知, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 松島英之, 津田　匠, 權　雅憲. 障害肝併存肝細胞癌に対する肝予備能評価の新たな指標. 第 66 回日本消化器外科学会総会, 2011 年 7 月, 名古屋
5. 中竹利知, 山道啓吾, 齊藤卓也, 田中宏典, 元廣高之. 空腸癌の 1 例. 第 73 回日本臨床外科学会総会, 2011 年 11 月, 東京

坪田　優（病院助教, 枚方病院）

発表 (1)

坪田　優, 末岡憲子, 山本大悟, 吉田秀行, 兼松清香. 乳腺 MALT リンパ腫の1例. 第19回 日本乳癌学会学術総会, 2011 年 9 月, 仙台

棚野晃秀（安城更生病院）

論文 (4)

1. 棚野晃秀, 堀沢　稔. 中心静脈カテーテル挿入—超音波ガイドによる鎖骨下静脈カテーテル挿入法—: 小児外科　43, 113－116, 2011
2. 棚野晃秀, 堀沢　稔. 甲上舌管嚢腫(Sistrunk 手術)の標準治療:小児外科　43, 1013－1017, 2011
3. 棚野晃秀, 堀沢　稔. 腫瘤形成性虫垂炎に対する Interval Appendectomy の限界:Dropout 症例の傾向と対策:日本小児外科学会雑誌　47, 932－937,2011
4. 棚野晃秀, 堀沢　稔. 術前診断し腹腔鏡下手術を施行した小児特発性大網捻転症の 1 例:日本小児外科学会雑誌　47, 1059-1063, 2011

発表 (4)

1. 棚野晃秀. 腹腔鏡下手術を施行した小児特発性大網捻転症の 1 例. 第 25 回日本小児救急医学会, 2011/06/10-6/11, 東京
2. 棚野晃秀. 小児特発性大網捻転症の 1 例. 第 48 回日本小児外科学会総会, 2011/07/20-7/22, 東京
3. 棚野晃秀, 堀沢　稔. 再発を繰り返す正中頚のう胞の原因を病理学的に証明した興味ある 1 例. 第 48 回日本小児外科学会総会, 2011/07/20-7/22, 東京
4. 棚野晃秀. 小児に対する容量結合型敷き込み式電気メス対極板の使用経験と有用性について. 第 31 回日本臨床麻酔学会大会　2011/11/03-11/05　沖縄県

三木博和（神戸徳洲会病院）

発表 (5)

1. 三木博和, 井上健太郎, 道浦　拓, 福井淳一, 向出裕美, 山田正法, 中根恭司, 權　雅憲. 完全鏡視下による幽門側胃切除 Roux-en-Y 再建. 第 7 回日本消化管学会, 2011 年 2/18, 京都
2. 三木博和, 井上健太郎, 佐藤睦哉, 向出裕美, 福井淳一, 山田正法, 道浦拓, 中根恭司, 權　雅憲. 病病連携による術前腹腔鏡検査の有用性. 第 83 回日本胃癌学会, 2011 年 3/4, 青森
3. 三木博和, 岩本慈能, 福井淳一, 徳原克治, 中根恭司, 權　雅憲. 新膀胱造設により stomaless TPE が可能であった前立腺浸潤直腸癌の一例. 第 66 回日本消化器外科学会, 2011 年 7/14, 名古屋
4. 三木博和, 道浦拓, 岩井愛子, 末岡憲子, 向出裕美, 福井淳一, 井上健太郎, 權　雅憲, 木下秀文, 松田公志. 当院における腹腔鏡下根治的前立腺全摘術後の鼠径ヘルニアの検討. 第 9 回日本ヘルニア学会, 2011 年 8/1, 福岡
5. 三木博和, 道浦　拓, 宮本　真, 井上健太郎, 友田幸一, 中根恭司, 權　雅憲. 食道癌術後の声帯麻痺の経過についての検討. 第 19 回日本消化器関連学会, 2011 年 10/23, 福岡

津田　匠（病院助教, 枚方病院）

論文 (1)

津田　匠, 濵田吉則, 髙田晃平, 權　雅憲. Henoch-Schönlein 紫斑病に合併した小腸重積症の 1 例. 日本小児外科学会雑誌, 2011　47　237-241

発表 (5)

1. 津田　匠, 海掘昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 山田正法, 權　雅憲. 胃癌肝転移切除症例の検討. 肝胆膵外科学会, 2011/6, 東京
2. 津田　匠, 石崎守彦, 海堀昌樹, 松井康輔, 松島英之, 中竹利知, 吉田秀行, 山本大吾, 權　雅憲. 当院で経験した乳癌肝転移の2切除例. 肝胆膵外科学会, 2011/06/08～06/10　東京
3. 津田　匠, 高田晃平, 松島英之, 濵田吉則. Vanishing testis の術前診断についての検討. 日本小児外科学会 2011/07, 東京
4. 津田　匠, 海堀昌樹 , 石崎守彦 , 松井康輔 , 松島英之 , 中竹利知, 陳　延偉, 權　雅憲. 当科での肝臓切除手術における画像支援技術の開発. 消化器外科学会 , 2011/7, 名古屋
5. 津田　匠, 道浦　拓, 福井淳一, 向出裕美, 山田正法, 徳原克治, 岩本慈能, 井上健太郎, 中根恭司, 權　雅憲. 食道神経内

分泌腫瘍の1例. 臨床外科学会, 2011/11, 東京

廣岡　智（大学院生）

論文 (1)

Satoshi Hirooka, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, So Yamaki, Rintarou Yui, Taku Michiura, Kentaro Inoue, A-Hon Kwon. The role of circulating dendritic cells in patients with unresectable pancreatic cancer**.** Anticancer Research 2011; 31: 3827-3834

発表 (10)

1. 廣岡 智, 柳本泰明, 里井壮平, 豊川秀吉, 山本智久, 山木壮, 由井倫太郎, 道浦 拓, 井上健太郎, 權 雅憲. 膵癌患者における末梢血 T 細胞および抗原提示細胞の共刺激因子の評価. 第 32 回癌免疫外科研究会 2011/5/20 和歌山
2. 廣岡 智, 柳本泰明, 里井壮平, 豊川秀吉, 山本智久, 山木 壮, 由井倫太郎, 道浦拓, 井上健太郎, 權 雅憲. 膵癌患者末梢血における T 細胞及び抗原提示細胞の活性化因子の評価. 第 111 回日本外科学会定期月術集会（紙上開催）
3. 廣岡 智, 柳本泰明, 里井壮平, 豊川秀吉, 山本智久, 山木壮, 由井倫太郎, 道浦 拓, 井上健太郎, 權 雅憲. 膵癌患者における免疫機能評価. 第 23 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2011/6/8 東京 （会長賞受賞）
4. 廣岡 智, 柳本泰明, 里井壮平, 豊川秀吉, 山本智久, 山木 壮, 由井倫太郎, 道浦 拓, 井上健太郎, 權 雅憲.膵癌患者における免疫担当細胞の共刺激因子の評価. 第 42 回日本膵臓学会大会 2011/7/30 青森・弘前
5) 廣岡 智, 柳本泰明, 里井壮平, 豊川秀吉, 山本智久, 山木 壮, 由井倫太郎, 道浦 拓, 井上健太郎, 權 雅憲.切除不能膵癌患者における末梢血樹状細胞の評価. 第 73 回日本臨床外科学会総会 2011/11/17 東京
6. Satoshi Hirooka, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, So Yamaki, Rintarou Yui, A-Hon Kwon. Effect of administration of AHCC in rat with subcutaneous tumor of pancreatic cancer cell. 第 19 回統合医療機能性食品国際会議(19th ICNIM) 2011/10/15 札幌
7. Satoshi Hirooka, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, So Yamaki, Rintarou Yui, Taku Michiura, Kentarou Inoue, A-Hon Kwon. Clinical evaluation of activating factors on circulating T cells and antigen presenting cells in patients with pancreatic cancer. International Surgical Week 2011 2011/8/29 横浜
8. Satoshi Hirooka, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, So Yamaki, Rintarou Yui, Taku Michiura, Kentarou Inoue, A-Hon Kwon. The role of circulating dendritic cells in patients with unresectable pancreatic cancer. 4th AOPA & KPBA 2011/9/1-9/3 韓国・済州島
9. Satoshi Hirooka, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Tomohisa Yamamoto, So Yamaki, Rintarou Yui, Taku Michiura, Kentarou Inoue, A-Hon Kwon. The role of circulating dendritic cells in patients with unresectable pancreatic cancer. The International Pancreatic Research Forum 2011 2011/11/26 大阪
10. 廣岡 智, 柳本泰明, 里井壮平, 豊川秀吉, 山本智久, 山木 壮, 由井倫太郎, 道浦拓, 井上健太郎, 權 雅憲.切除不能膵癌患者における免疫機能評価. 第 24 回日本バイオセラピー学会学術集会総会 2011/12/2 和歌山

岩本慈能（助教, 枚方病院）

発表 (9)

1. S. Iwamoto, K. Tokuhara, S. Okazaki, H. Miki, A.-H. Kwon. mFOLFOX6/Xelox chemotherapy plus bevacizumab for patientswith unresectable stage IV colon cancer and a ynchronous primary tumo. ISW 2011, Aug-11, Yokohama, Japan
2. 岩本慈能, 徳原克二, 吉岡和彦, 岡崎 智, 福井淳一, 向出裕美, 道浦 拓, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. 1 次治療として mFOLFOX6/XELOX+bev.療法をおこなった症例に対する 2 次治療の検討. 第 49 回日本癌治療学会学術集会, Oct-11, 名古屋
3. 岩本慈能, 徳原克二, 吉岡和彦, 岡崎 智, 福井淳一, 向出裕美, 道浦 拓, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. cStageⅣ大腸がんイレウスに対する治療戦略 -原発巣切除は先行すべきか？-. 第 49 回日本癌治療学会学術集会, Oct-11, 名古屋
4. 岩本慈能, 徳原克二, 吉岡和彦, 岡崎 智, 福井淳一, 向出裕美, 道浦 拓, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. 当院における XELOX+Bev.療法の使用経験. 第 49 回日本癌治療学会学術集会, Oct-11, 名古屋
5. 岩本慈能, 徳原克治, 吉岡和彦, 向出裕美, 岡崎 智, 福井淳一, 井上健太郎, , 道浦 拓, 中根恭司, 權 雅憲. cStageⅣ大腸がんイレウスに対する治療戦略 -原発巣切除は先行すべきか？-. 第 65 回日本消化器外科学会総会, Jul-11, 名古屋
6. 岩本慈能, 上山庸佑, 岡崎 智, 向出裕美, 徳原克治, 吉岡和彦, 井上健太郎, 道浦 拓, 中根恭司, 權 雅憲. 腹腔鏡下大腸がん手術における単孔式手術 ?当院での取り組み－. 第 24 回日本内視鏡外科学会総会, Dec-11. 大阪
7. 岩本慈能, 上山庸佑, 岡崎 智, 向出裕美徳原克治, 吉岡和彦, 中根恭司, 權 雅憲. 腹腔鏡下大腸がん手術における単孔式手術 ?当院での取り組み－. 第 15 回近畿内視鏡外科研究会, Oct-11, 大阪
8. 岩本慈能, 徳原克治, 吉岡和彦, 向出裕美, 岡崎 智, 福井淳一, 三木博和, 道浦 拓, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. 外来化学療法の効率化と安全への取り組み ー大腸がん化学療法での工夫ー. 第 73 回日本臨床外科学会総会, Nov-11, 東京
9. 岩本慈能, 徳原克治, 吉岡和彦, 向出裕美, 岡崎 智, 福井淳一, 三木博和, 道浦 拓, 井上健太郎, 中根恭司, 權 雅憲. cStage4 大腸がんに対する治療戦略 −原発巣切除は先行すべきか？−. 第 66 回日本大腸肛門病学会, Nov−11, 東京

松井康輔（助教，枚方病院）

論文 (2)

1. Matsui K, Ozaki T, Oishi M, Tanaka Y, Kaibori M, Nishizawa M, Okumura T, Kwon AH. Active Hexose Correlated Compound Inhibits the Expression of Proinflammatory Biomarker iNOS in Hepatocytes.. Eur Surg Res, 2011 Nov 10, 47(4), 274-283
2. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，權　雅憲．肝硬変合併巨大肝細胞癌における開腹下マイクロ波凝固壊死療法の工夫．Journal of Microwave Surgery, 2011/8 月, 29, 127-131

発表 (13)

1. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，松島英之，中竹利知，津田　匠，權　雅憲．当科での肝切除後合併症ゼロを目指した種々の工夫．第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会，ビデオパネルディスカッション，東京, 2011/6/8-10
2. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，松島英之，津田　匠，中竹利知，權　雅憲．安全な拡大肝切除術を目指した当科での工夫．第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会，要望ビデオ，東京, 2011/6/8-10
3. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，津田　匠，松島英之，中竹利知，權　雅憲．肝細胞癌切除後の手術部位感染（SSI）が関与したと考える腹壁瘢痕ヘルニア（IH）の症例．第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会，要望ポスター，東京, 2011/6/8-10
4. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，權　雅憲．当科での肝臓外科手術における ERAS プロトコール検証．日本外科代謝栄養学会第 48 回学術集会，要望一般，名古屋, 2011/7/7-8
5. 松井康輔，海堀昌樹，奥村忠芳，西澤幹雄，大石賢玄，徳原克治，浜田吉則，權　雅憲．機能性食品 AHCC による iNOS 誘導阻害．日本外科代謝栄養学会第 48 回学術集会，一般，名古屋, 2011/7/7-8
6. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，中竹利知，津田　匠，松島英之，權　雅憲．当科での大型肝細胞癌に対するアシアロシンチ推定残存肝機能評価による肝切除術式の工夫．第 66 回日本消化器外科学会総会，ビデオシンポジウム，名古屋, 2011/7/13-15
7. 松井康輔，海堀昌樹，權　雅憲．当科での肝臓外科手術における ERAS プロトコールの検証. JDDW2011 第 19 回日本消化器関連学会週間，パネルディスカッション，福岡, 2011/10/20-23
8. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，松島英之，中竹利知，山中英治，權　雅憲．当科での肝臓外科手術における ERAS プロトコール導入によるクリニカルパスの変遷．第 73 回日本臨床外科学会総会，ワークショップ，東京, 2011/11/17-19
9. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，松島英之，中竹利知，坂口達馬，權　雅憲．当科での大型肝細胞癌に対する肝切除術式の工夫．第 73 回日本臨床外科学会総会，主題関連一般，東京, 2011/11/17-19
10. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，松島英之，權　雅憲．肝細胞癌切除後の腹壁瘢痕ヘルニア(IH)と手術部位感染(SSI)との関連性．第 73 回日本臨床外科学会総会，要望一般，東京, 2011/11/17-19
11. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，松島英之，津田　匠，中竹利知，岩本慈能，徳原克治，吉岡和彦，權　雅憲.切除可能および初回切除不能大腸癌肝転移に対する術前科学療法後の外科治療成績．第 39 回近畿肝臓外科研究会，一般，大阪, 2011/2/26
12. 松井康輔，海堀昌樹，石崎守彦，池田広記，中橋佳嗣，広原淳子，是枝ちづ，關　壽人，岡崎和人，狩谷秀治，谷川　昇，澤田　敏，權　雅憲．肝細胞癌外科的切除前の局所もしくは全肝に対する肝動脈化学塞栓術の有効性に関するランダム化比較試験．第 47 回日本肝癌研究会，一般（ポスター），静岡, 2011/7/28-29
13. 松井康輔　海堀昌樹，石崎守彦，權　雅憲．カシオペア手術手技評価に関する報告．第 3 回肝臓外科医育成の会，一般，大阪, 2011/12/17

兼松清果（助教，香里病院）

論文 (1)

Sayaka Kanematsu, Katsuhiko Yoshizwa, Norihisa Uehara, Hisanori Miki, Tomo Sasaki, Maki Kuro, Yen-Chang Lai, Ayako Kimura, Takashi Yuri, Airo Tsubura. Sulforaphane inhibits the growth of KPL-1 human breast cancer cells *in vitro* and suppresses the growth and metastasis of orthotopically transplanted KPL-1 cells in female athymic mice. ONCOLOGY REPORTS 2011; 26: 603-608.

発表 (2)

1. 兼松清果，義澤克彦，佐々木　朋，三城弥範，畔　満喜，頼　彦長，川中彩子，上原範久，圦　貴司，螺良愛郎. Sulforaphane によるヌードマウス可移植性 KPL-1 ヒト乳癌細胞株の増殖抑制．第１００回日本病理学会総会，２０１１年４月２８日～３０日，横浜
2. 兼松清果，義澤克彦，佐々木　朋，三城弥範，畔　満喜，頼　彦長，木村彩子，上原範久，圦　貴司，螺良愛郎. Sulforaphane によるヌードマウス可移植性 KPL-1 ヒト乳癌細胞株への効果．第１９回日本乳癌学会総会，２０１１年９月２日～４日，仙台

山尾 順（病院助教，滝井病院）

論文 (1)

山尾 順　今村 敦　斉藤 隆道　田中 宏典　高田 秀穂　權 雅憲．椎間板ヘルニア術後に生じた外傷性動静脈瘻に対してステントグラフト留置を行った 1 例．日本血管外科学会会誌 2011;20:7–11

発表 (1)

山尾　順, 坪田　優, 今村　敦, 高田秀穂, 權　雅憲. 腎動脈狭窄に対するステント治療後に傍腎動脈大動脈瘤を認めた1例. 第39 回日本血管外科学会学術総会, H23 年 4 月, 沖縄, 4 月 20 日

柳本泰明（助教, 枚方病院）

論文 (2)

1. 柳本泰明, 里井壯平, 權　雅憲. ゲムシタビン単独療法が奏効した肝門部胆管がんの 1 例. 臨床腫瘍プラクティス, 2011, 7 巻 4 号,　P426-429
2. 柳本泰明, 權　雅憲,【癌個別化医療はどこまですすんだのか】各論　膵癌の個別化医療　癌ペプチドワクチン療法を中心に. 外科, 2011, 73 巻 10 号,　P1079-1082

発表 (7)

1. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 權　雅憲. 切除不能膵癌における患者個々の免疫状態に応じたテーラーメードペプチドワクチン併用化学療法. 第 7 回日本消化管学会総会, 2011.02.18 − 02.19, 京都
2. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 由井倫太郎, 權　雅憲. 切除不能局所進行膵癌に対する集学的治療. 第 111 回日本外科学会定期学術集会, 2011.05, 紙上開催
3. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 良田大典, 山木　壮, 由井倫太郎, 權　雅憲. 化学（放射線）療法により切除可能となった切除不能局所進行膵癌の治療経験. 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2011.06.08 − 06.10, 東京
4. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 由井倫太郎, 權　雅憲. 切除不能局所進行膵癌治療戦略における staging laparoscopy の有用性. 第 42 回日本膵臓学会大会, 2011.07.29 − 07.30, 青森
5. 柳本泰明, 井岡達也, 池田公史, 大川伸一, 杉森一哉, 福富　晃, 馬場秀夫, 山雄健次, 上野秀樹, 朴　成和, 水元一博, 古瀬純司, 羽鳥　隆, 船越顕博, 山口武人, 江川新一, 佐藤　温, 大橋靖雄, 田中雅夫, 奥坂拓志. 進行膵癌に対する GEM/TS-1/GEM+TS-1 の第 3 相試験（GEST). 第 42 回日本膵臓学会大会, 2011.07.29 − 07.30, 青森
6. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 由井倫太郎, 權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術における安全な吻合のための工夫. 第 66 回日本消化器外科学会総会, 2011.07.13 − 07.15, 名古屋
7. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 由井倫太郎, 山木　壮, 廣岡　智, 松井陽一, 井上健太郎, 道浦　拓, 權　雅憲. 当科における膵消化管吻合」, 第 73 回日本臨床外科学会総会, 2011.11.17 − 11.19, 東京

座長, 講演 (4)

1. 一般演題　第 7 回日本消化管学会総会, 2011.02.18 − 02.19, 京都, 座長
2. 一般示説　第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2011.06.08 − 06.10, 東京, 座長
3, 関西 GEST 講演会,　2011.6.18, 大阪, パネリスト
4. GEST 結果報告会,　2011.7.9, 東京, パネリスト

講演 (8)

1. 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 山本智久, 廣岡　智, 山木　壮, 由井倫太郎, 權　雅憲. 主要縮小により切除不能となった切除不能局所進行膵癌の治療経験. 第 38 回日本膵切研究会, 2011.08.26 − 08.27, 福岡
2. 癌免疫療法の最前線. 阪奈胆膵外科研究会, 2011.12.02, 大阪
3. 膵・胆道癌の病態と治療. 第 9 回専門薬剤師育成委員会講習会, 2011. 3. 4, 大阪
4. 膵癌の治療. Lilly 社内勉強会, 2011. 5. 20, 大阪
5. がん性疼痛の治療. 田辺三菱製薬　社内勉強会, 2011.1.21, 大阪
6. がん性疼痛の治療. 協和発酵キリン　社内勉強会, 2011.4.8, 大阪
7. 膵癌に対する治療戦略. 枚方市病院協会　勉強会, 2011.12.02, 大阪
8. 当科における膵癌治療戦略. 若草第一病院　勉強会 2011.9.05, 大阪

肱川　健（助教, 滝井病院）)

発表 (1)

肱川　健, 高田　秀穂, 吉田　良, 上山庸祐. 腸重積を呈した結腸脂肪腫に対して待機的に腹腔鏡補助下手術を施行した 1 例. 第 66 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2011 年 11 月 25･26 日, 東京

豊川秀吉（助教, 枚方病院）

論文 (3)

1. 豊川秀吉, 權　雅憲, 里井壯平, 柳本泰明, 山本智久, 井上健太郎. 膵癌における Staging laparoscopy の手技, 手術　2011 年 第 65 巻　第 12 号　1785-1788.
2. 豊川秀吉, 權　雅憲. 特集　膵・胆道の良性～低悪性度病変　黄色肉芽腫性胆嚢炎. 臨床消化器内科, 2011, 26(5):535-540
3. 豊川秀吉, 權　雅憲. 黄色肉芽腫性胆嚢炎. 別冊肝・胆道系症候群 III, 日本臨床, 東京, 2011, 219-222

発表 (9)

1. 豊川秀吉，里井壮平，柳本泰明，山本智久，廣岡智，山木壮，由井倫太郎，松井陽一，權　雅憲．膵頭十二指腸切除術における硬膜外麻酔の術後経過に及ぼす影響．日本外科学会　H23 年4月，紙上開催
2. H. Toyokawa, S. Satoi, H. Yanagimoto, T. Yamamoto, S. Hirooka, R. Yui, S. Yamaki, Y. Matsui, AH. Kwon.. Use of the new ultrasonically curved shear in pancreaticoduodenectomy for peri-ampullary cancer. 韓国肝胆膵外科学会　H23 年4月 1-2 日，ソウル
3. 豊川秀吉，里井壮平，柳本泰明，山本智久，高橋完治，由井倫太郎，山木　壮，廣岡　智，松井陽一，權　雅憲．当科における膵頭十二指腸切除後の膵液漏防止対策．日本肝胆膵外科学会　H23 年 6 月 8-10 日，東京
4. 豊川秀吉，里井壮平，柳本泰明，山本智久，廣岡智，山木壮，由井倫太郎，松井陽一，權　雅憲．胆道癌術後の補助化学療法の成績．日本消化器外科学会　H23 年 7 月 13-15 日，名古屋
5. 豊川秀吉，里井壮平，柳本泰明，山本智久，廣岡智，山木壮，由井倫太郎，松井陽一，權　雅憲．膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除術における新規超音波凝固切開装置の臨床的評価．日本膵臓学会　H23 年 7 月 29-30 日，青森
6. 里井壮平，豊川秀吉，山木壮，柳本泰明，山本智久，廣岡智，由井倫太郎，松井陽一，權　雅憲．膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除術における硬膜外麻酔の術後経過に及ぼす影響．日本膵切研究会　H23 年 8 月 26-27 日，久留米
7. 豊川秀吉，里井壮平，柳本泰明，山本智久，廣岡智，山木壮，由井倫太郎，松井陽一，權　雅憲．肝外胆管癌切除症例における予後因子の検討．日本胆道学会　H23 年 9 月 16-17，宮崎
8. 豊川秀吉，里井壮平，柳本泰明，山本智久，高橋完治，由井倫太郎，山木　壮，廣岡　智，松井陽一，權　雅憲．当科における膵頭十二指腸切除後の膵液漏防止対策．日本臨床外科学会　H23 年 11 月 17-19 日，東京
9. H. Toyokawa, S. Kim, S. Satoi, H. Yanagimoto, T. Yamamoto, S. Hirooka, S. Yamaki, R. Yui, Y. Matui, AH. Kwon**.** Synergistic inhibitory effect of Gemcitabine and Angiotensin type-1 receptor blocker, Losartan, on orthotopic rat pancreatic cancer model. The International Pancreatic Research Forum　H23 年 11 月 26 日，大阪

高田晃平（病院講師，枚方病院）

論文 (1)

高田晃平，津田　匠，矢内洋次，藤井喜充，濵田吉則．心身障がい児の急性腹症．小児外科

発表 (6)

1. 高田晃平，坂口達馬，津田　匠，矢内洋次，浜田吉則．膵・胆管合流異常症における手術適応と至適術式．第 73 回日本臨床外科学会総会
2. 高田晃平，津田　匠，矢内洋次，中竹利知，三木博和，權　雅憲，浜田吉則．成人ヒルシュスプルング病の 1 手術例．PSJM2011 第 31 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会
3. 高田晃平，津田　匠，矢内洋次，浜田吉則．超・極出生体重児における臍部人工肛門造設術の検討. PSJM2011　第 27 回日本小児外科学会秋季シンポジウム
4. 高田晃平，坂口達馬，松島英之，渡辺仁人，浜田吉則．尿生殖洞異常の 1 例．第 47 回日本小児外科学会近畿地方会
5. 高田晃平，津田　匠，矢内洋次，松井陽一，佐藤正人，浜田吉則．小児特発性胆石症の検討．第 48 回日本小児外科学会学術集会
6. 高田晃平，菱川秀彦，津田　匠，矢内洋次，浜田吉則．腸重積を疑われた O-157 大腸炎の 2 例．第 25 会日本小児救急医学会

石崎守彦（助教，枚方病院）

論文 (2)

1. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中竹利知，松島英之，坂口達馬，權　雅憲．当院における切除不能進行肝細胞癌に対する sorafenib の治療経験．癌と化学療法　38(12)　2493-2495　2011/12
2. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，吉田和正，奥野雅史，權　雅憲．被膜下血腫をきたした肝細胞癌の 1 例．日本臨床外科学会雑誌　72(7)　1827-1832　2011/7

発表 (24)

1. Ishizaki M, Kaibori M, Matsui K, Kwon AH. Effect of Sorafenib and Intermittent Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy Using Cisplatin for Advanced Hepatocellular Carcinoma with Portal Vein Tumor Thrombus. The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL), Bangkok, Thailand　2011/2/17-20
2, Ishizaki M, Kaibori M, Matsui K, Kwon AH. Rredictors of Microvascular Invasion before Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma. The 21st Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL), Bangkok, Thailand 2011/2/17-20
3. Morihiko Ishizaki, Masaki Kaibori, Kosuke Matsui, A-Hon Kwon. The effect of Sorafenib and Cisplatin for advanced hepatocellular carcinoma. The 2nd Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting (APPLE meeting), Osaka 2011/7/4
4. Ishizaki M, Kaibori M, Matsui K, Kwon AH. Changes in quality of life before and after surgery in living-donor liver transplantation: a single-institution experience. 12th Congress of the Asian Society of Transplantation (CAST2011). Seoul, Korea 2011/9/25-28

5. Ishizaki M, Kaibori M, Matsui K, Kwon AH. A prospective randomaized controlled trial of preoperative whole-liver chemolipiodolization for hepatocellular carcinoma （シンポジウム）. The 21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists,and Oncologists. (IASGO) Tokyo 2011/11/9-12
6. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，岩本慈能，松島英之，津田 匠，中竹利知，徳原克治，權 雅憲．大腸癌肝転移に対する術前化学療法および切除時期を考慮した外科治療成績（ミニシンポジウム）．第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 東京 2011/6/8-10
7. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，松島英之，津田 匠，中竹利知，權 雅憲．当科での肝細胞癌肝切除術における輸血施行例の長期成績（ミニシンポジウム）．第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 東京 2011/6/8-10
8. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中竹 利知，津田 匠，松島英之，權 雅憲．当科における再発・切除不能肝細胞癌症例に対する sorafenib の治療経験．第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 東京 2011/6/8-10
9. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中竹利知，松島英之，權 雅憲．当院における切除不能進行肝細胞癌に対する sorafenib の治療経験．第 33 回日本癌局所療法研究会 大阪 2011/6/10
10. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，權 雅憲．当科における切除不能進行肝細胞癌に対するソラフェニブの治療経験．第 4 回日本肝がん分子標的治療研究会 東京 2011/6/18
11. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，徳原克治，岩本慈能，權 雅憲．大腸癌肝転移に対する分子標的薬による術前科学療法および待機肝切除による外科治療成績．第 66 回日本消化器外科学会総会 名古屋 2011/7/13-15
12. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中竹利知，松島英之，權 雅憲．当科における切除不能進行肝細胞癌に対する sorafenib の治療経験（シンポジウム）．第 47 回日本肝癌研究会 静岡 2011/7/28-29
13. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，權 雅憲．当科における切除不能進行肝細胞癌に対する sorafenib の治療成績．第 46 回近畿肝癌談話会 大阪 2011/8/27
14. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中竹利知，松島英之，權 雅憲．当科で経験した切除不能進行肝細胞癌に対する sorafenib 療法. JDDW2011 第 19 回日本消化器関連学会週間 福岡 2011/10/20-23
15. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，徳原克治，岩本慈能，權 雅憲．大腸癌肝転移に対する分子標的薬術前科学療法および待機肝切除による外科治療成績. JDDW2011 第 19 回日本消化器関連学会週間 福岡 2011/10/20-23
16. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，吉田和正，奥野雅史，權 雅憲．当科での切除不能進行肝細胞癌に対する sorafenib 療法．第 49 回日本癌治療学会学術集会 名古屋 2011/10/27-29
17. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中竹利知，松島英之，坂口達馬，權 雅憲．当科における腹腔鏡下肝切除の現況と高度肝硬変合併症例の検討（ワークショップ）．第 24 回近畿内視鏡外科研究会 吹田 2011/10/15
18. 当科における腹腔鏡下肝切除の現況および肝硬変合併症例における鏡視下手術の有用性について．第 5 回肝臓内視鏡外科研究会 東京 2011/11/16
19. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中竹利知，松島英之，權 雅憲．当科での進行肝細胞癌に対する長期予後を目指した sorafenib 療法（シンポジウム）．第 73 回日本臨床外科学会総会 東京 2011/11/17-19
20. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，徳原克治，岩本慈能，吉岡和彦，權 雅憲．大腸癌肝転移に対する術前化学療法の影響と肝切除のタイミング（パネルディスカッション）．第 73 回日本臨床外科学会総会 東京 2011/11/17-19
21. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，松島英之，坂口達馬，津田 匠，中竹利知，權 雅憲．安全な肝亜区域切除術を目指した当科での工夫（ビデオワークショップ）．第 73 回日本臨床外科学会総会 東京 2011/11/17-19
22. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，中村竜也，權 雅憲．肝硬変併存肝細胞癌切除術における術中予防的抗菌薬 3 時間投与レジメンの再検証．第 24 回日本外科感染症学会総会 三重 2011/12/1-2
23. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，豊川秀吉，權 雅憲．肝癌と鑑別困難であった肝膿瘍に対し腹腔鏡下肝切除術を施行した 1 例．第 24 回日本内視鏡外科学会総会 大阪 2011/12/7-9
24. 石崎守彦，海堀昌樹，松井康輔，豊川秀吉，權 雅憲．当科における腹腔鏡下肝切除の現況と高度肝硬変合併症例の検討．第 24 回日本内視鏡外科学会総会 大阪 2011/12/7-9

山本智久（助教，枚方病院）

論文 (1)

Tomohisa Yamamoto, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Rintaro Yui, Jun Yamao, Songtae Kim, A-Hon Kwon. Circulating CD4+CD25+ regulatory T cells in patients with pancreatic cancer. Pancreas. 2011 in press.

発表 (15)

1. Tomohisa Yamamoto, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Rintaro Yui, A-Hon Kwon. Circulating CD4+CD25+ regulatory T cells in patients with pancreatic cancer. 4th Asian-Oceanic Pancreatic Association, Jeju Korea on September 2-3, 2011.
2. Tomohisa Yamamoto, Hiroaki Yanagimoto, Sohei Satoi, Hideyoshi Toyokawa, Satoshi Hirooka, So Yamaki, Rintaro Yui, Jun Yamao, Songtae Kim, A-Hon Kwon. Circulating regulatory T cells in patients with pancreatic cancer. International Surgical Week, 2011 Yokohama, Japan August 28 – September 1
3. 山本智久，里井壮平，豊川秀吉，柳本泰明，由井倫太郎，山木 壮，廣岡 智，松井陽一，權 雅憲．膵頭十二指腸切除術後の感染性合併症の検討．第 111 回日本外科学会定期学術集会，紙上開催
4. 山本智久，里井壮平，豊川秀吉，柳本泰明，山木壮，由井倫太郎，廣岡 智，松井陽一，權 雅憲．当科における十二指腸乳頭部癌に対する治療方針．第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会 会期：2011 年 6 月,京王プラザホテル
5. 山本智久，里井壮平，柳本泰明，豊川秀吉,楠田武生,内田一茂，高岡 亮，岡崎和一，權 雅憲．膵癌との鑑別を要した自己

免疫性膵炎の 1 例. 第 23 回日本肝胆膵外科学会学術集会　会期:2011 年 6 月, 京王プラザホテル
6. 山本智久, 柳本泰明, 里井壯平, 豊川秀吉, 広岡　智, 由井倫太郎, 山木　壮, 權　雅憲. 膵癌患者における制御性 T 細胞(Treg)評価の意義. 第 32 回癌免疫外科研究会, 和歌山, 平成 23 年 5 月
7. 山本智久, 里井壯平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 廣岡　智, 山木　壮, 由井倫太郎, 道浦　拓, 井上健太郎, 權雅憲. Gemcitabine+S-1 併用療法を行い切除可能となった切除不能局所進行膵癌 2 例. 第 190 回近畿外科学会, 平成 23 年 11 月, 大阪
8. 山本智久, 里井壯平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 廣岡　智, 由井倫太郎, 山木　壮, 權　雅憲. 化学, 放射線療法後切除可能となった切除不能局所進行膵癌の経験. 近畿膵疾患懇話会
9. 山本智久, 里井壯平, 柳本泰明, 豊川秀吉,楠田武生, 内田一茂, 高岡　亮, 岡崎和一, 權　雅憲. 膵癌との鑑別を要した Idiopathic duct-centric pancreatitis (IDCP)の 1 例. 阪神膵臓外科研究会
10. 山本智久, 里井壯平, 柳本泰明, 豊川秀吉, 由井倫太郎, 山木　壮, 廣岡　智, 松井陽一, 權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術における予防的抗菌剤使用期間の検討. 第 7 回日本消化管学会総会学術集会, 2011 年 2 月, 京都
11. 山本智久, 里井壯平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 廣岡　智, 山木壮, 由井倫太郎,松井陽一, 權　雅憲. 超音波凝固切開装置(ハーモニック FOCUS)を用いた膵頭十二指腸切除術. 第 66 回日本消化器外科学会総会, 名古屋
12. 山本智久, 豊川秀吉, 里井壯平, 柳本泰明, 山木　壮, 由井倫太郎, 廣岡　智, 松井陽一, 權　雅憲. 先天性胆道拡張症に対する肝管空腸吻合術 23 年後に発症した胆管癌の 1 例. 第 47 回日本胆道学会学術集会, 宮崎
13. 山本智久, 里井壯平, 柳本泰明, 豊川秀吉, 桜本和人, 富野敦稔, 高岡　亮, 北澤康秀, 岡崎和一, 權　雅憲. 当院における外傷性膵損傷に対する治療方針. 第 47 回日本腹部救急医学会総会,日　程:2011 年 8 月福岡
14. 山本智久, 里井壯平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 廣岡　智, 由井倫太郎, 山木　壮, 井上健太郎, 道浦　拓, 松井陽一, 權　雅憲. 膵頭十二指腸切除術に対する予防的抗菌剤投与期間短縮の効果. 第 73 回日本臨床外科学会総会, 2011 年 11 月, 東京
15. 山本智久, 里井壯平, 豊川秀吉, 柳本泰明, 山木　壮, 由井倫太郎, 廣岡　智, 松井陽一, 權　雅憲. 胆膵癌における地域連携クリニカルパスの導入. 第 42 回日本膵臓学会大会, 青森, 2011 年 7 月

坂口達馬（専修医, 枚方病院）

発表 (10)

1. 坂口達馬, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 權　雅憲. 肝 MALT リンパ腫の 1 切除例. 第 189 回　近畿外科学会, 2011 年 6 月, 大阪
2. 坂口達馬, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 權　雅憲. FDG‐PET において集積亢進を示した肝血管筋脂肪腫の 1 切除例. 第 189 回　近畿外科学会, 2011 年 6 月, 大阪
3. 坂口達馬, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 權　雅憲. FDG‐PET において集積亢進を示した肝血管筋脂肪腫の 1 切除例. 第 47 回　日本肝癌研究会,　2011 年 7 月, 静岡
4. 坂口達馬, 松島英之, 高田晃平, 濵田吉則. 新生児メッケル憩室穿孔の一切除例. 第 47 回　日本小児外科学会近畿地方会, 2011 年 8 月, 大阪
5. 坂口達馬, 松島英之, 高田晃平, 濵田吉則. 原因不明の繰り返す消化管穿孔の 1 例. 第 66 回　小児外科わからん会, 2011 年 9 月, 大阪
6. 坂口　達馬, 井上　健太郎, 松島　英之, 上山　庸佑, 向出　裕美, 福井　淳一, 山田　正法, 道浦　拓, 中井　宏治, 尾崎　岳, 中根　恭司, 權　雅憲. 化学療法により腹膜播腫が消失し根治手術が施行出来たが,　術後 1 ヶ月目に高度の腹膜再発を来した Stage Ⅳ胃癌症例. 2011 年 11 月, 第 584 回　大阪外科集談会, 大阪
7. 坂口達馬, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 權　雅憲. 肝 MALT リンパ腫の 1 切除例. 2011 年 11 月, 第 73 回　日本臨床外科学会, 東京
8. 坂口達馬, 三木博和, 高田晃平, 濵田吉則, 權　雅憲. 出生前診断された回腸部分拡張症の 2 例. 2011 年 11 月, 第 73 回　日本臨床外科学会, 東京
9. 坂口達馬, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 松島英之, 權　雅憲. 側副血行路に発達し開腹手術により治療し得た肝動脈瘤の 1 例. 2011 年 11 月, 第 190 回　近畿外科学会, 大阪
10. 坂口達馬, 徳原克治, 豊川秀吉, 道浦　拓, 石崎守彦, 山本智久, 中根恭司, 權　雅憲. 日本人におけるドリペネム投与に関するサンフォード感染症治療ガイドの検討. 2011 年 12 月, 第 24 回　日本外科感染症学会総会, 三重

山田正法（助教, 枚方病院）

論文 (2)

1. Masanori Yamada, Masaki Kaibori,Hironori Tanaka, Kozo Habara, Takeshi, Hijikawa, Yoshito Tanaka, Masaharu　Oishi, Tadayoshi Okumura, et al. α-Lipoic Acid Prevents the Induction of iNOS Gene Expression Through Destabilization of Its mRNA in Proinflammatory Cytokine-Stimulated Hepatocytes, Digestive Diseases and Sciences, in press
2. Yamada, Masanori,Yao　Ikuko, Hayasaka Takahiro, Ushijima Masaru, Matsuura Masaki,Takada, Hideho, Shikata Nobuaki, Setou Mitsutoshi, Ahon Kwon, Ito Seiji. Identification of oligosaccharides from histopathological sections by MALDI-imaging mass spectrometry. Analytical & Bioanalytical Chemistry, in press

発表 (3)

1. 山田正法，中井宏治，上山庸輔，道浦　拓，井上健太郎，海掘昌樹，北出浩章，山道啓吾，川口雄才，中根恭司，權　雅憲. 胃癌肝転移に対して肝切除を施行した 2 例. 第 83 回胃癌学会，青森，2011 年　3 月
2. Masanori Yamada，Kentaro Inoue，Taku Michiura, Koji Nakai，Yasushi Nakane and Ahon Kwon. Liver resection for metastatic gastric cancer The 9th IGCC，韓国，2011 年 4 月
3. 山田正法，井上健太郎，向出裕美，道浦　拓，中井宏治，中根恭司，權　雅憲. 肥満を合併した胃癌症例における術前・術後合併症の検討.第 41 回　胃術後研究会，大阪，2011 年 10 月

福井淳一（助教，枚方病院）

発表 (8)

1. 福井淳一，三木博和，向出裕美，山田正法，波多野貴彦，増澤宗洋，道浦　拓，井上健太郎，中根恭司，權　雅憲. 腹腔鏡下幽門側胃切除術における新しい術後鎮痛法(腹横筋膜面・腹直筋鞘ブロック)の有用性. 第 83 回　日本胃癌学会総会，青森県三沢市，3 月
2. 福井淳一，道浦　拓，向出裕美，山田正法，中井宏治，井上健太郎，山道啓吾，中根恭司，權　雅憲. 当院における高齢者食道癌に対する根治的化学放射線療法の成績. 第 66 回日本消化器外科学会総会，名古屋，7 月
3. 福井淳一，佐藤正人，高田晃平，中竹利知，菱川秀彦，津田　匠，矢内洋次，濵田吉則. 腹腔鏡検索で明らかとなり一期的手術を施行した腹腔内交叉性精巣転位の 1 例. 第 48 回日本小児外科学会学術集会，東京，7 月
4. 福井淳一，道浦拓，三木博和，向出裕美，山田正法，中井宏治，井上健太郎，山道啓吾，中根恭司，權　雅憲. 当科における高齢者食道癌の治療成績. 第 65 回日本食道学会学術集会，仙台，9 月 26 日
5. 福井淳一，菱川秀彦，松島英之，津田　匠，向出裕美，山田正法，道浦　拓，井上健太郎，中根恭司，權　雅憲. 腹腔鏡下幽門側胃切除術における体性神経節ブロック併用鎮痛法の検討. 第 41 回胃外科・術後障害研究会，大阪，10 月
6. 福井淳一，道浦　拓，三木博和，向出裕美，山田正法，中井宏治，井上健太郎，山道啓吾，中根恭司，權　雅憲. 当科における高齢者食道癌の治療成績. 第 9 回日本消化器外科学会大会，福岡，10 月
7. 福井淳一，菱川秀彦，松島英之，津田　匠，向出裕美，山田正法，道浦　拓，徳原克治，井上健太郎，岩本慈能，中根恭司，權　雅憲. 胃 Large cell neuroendocrine carcinoma の二例と当科での胃内分泌細胞癌症例の検討. 第 73 回日本臨床外科学会総会，東京，11 月
8. 福井淳一，岩本慈能，徳原克治，吉岡和彦，岡崎　智，向出裕美，中根恭司，權　雅憲. 1 次治療として mFOLFOX/XELOX+bev.療法をおこなった症例に対する 2 次治療の検討. 第 66 回日本大腸肛門病学会学術集会，東京，11 月

徳原克治（助教，枚方病院）

論文 (2)

1. 徳原克治，吉岡和彦，岩本慈能，中根恭司，權　雅憲. 右側結腸癌に対する腹腔鏡下手術の医療経済学的検討； 日本大腸肛門病会誌，2011; 64: p1-5
2. Katsuji Tokuhara, Takahito Nakano, Kentaro Inoue, Yasushi Nakane, A-Hon Kwon. Primary Squamous Cell Carcinoma in Gastric Remnant. Surgery Today in press）

発表 (5)

1. 徳原克治，岩本慈能，大石賢玄，中根恭司，權　雅憲. 当科における大腸癌 StageIV 症例. 第 75 回大腸癌研究会，2011 年 7 月 8 日，東京
2. 徳原克治，岩本慈能，吉岡和彦，大石賢玄，向出裕美，井上健太郎，道浦拓，中根恭司，權　雅憲. 進行直腸癌に対する術前化学放射線療法. 第 49 回日本癌治療学会学術集会，2011 年 10 月 28 日，名古屋
3. 徳原克治，岩本慈能，吉岡和彦，大石賢玄，向出裕美，井上健太郎，道浦拓，中根恭司，權　雅憲. 進行直腸癌に対する術前化学放射線療法. 第 73 回日本臨床外科学会総会，2011 年 11 月 17 日，東京
4. 徳原克治，岩本慈能，吉岡和彦　大石賢玄，中根恭司，權　雅憲. 腹腔鏡補助下右半結腸切除術に対する横行結腸間膜頭側からのアプローチ. 第 66 回日本大腸肛門病学会学術集会，2011 年 11 月 25 日，東京
5. 徳原克治，岩本慈能，向出裕美，井上健太郎，道浦拓，中根恭司，權　雅憲. 同時性多発大腸癌に対する腹腔鏡下手術の経験. 第 24 回日本内視鏡外科学会総会，2011 年 12 月 9 日，大阪

松浦　節（助教，滝井病院）

論文 (1)

Takashi Matsuura, Masaki Kaibori, Yoshiro Araki, Miho Matsumiya, Yuka Yamamoto, Yukinobu Ikeya, Mikio Nishizawa, Tadayoshi Okumura and A-Hon Kwon. Japanese herbal medicine, inchinkoto, inhibits inducible nitric oxide synthase induction in interleukin-1β-stimulated hepatocytes. Hepatology Research　2012; 42: 76-90

発表 (3)

1. 松浦　節, 荒木吉朗, 松宮美保, 海堀昌樹, 奥村忠芳, 權　雅憲. 漢方薬・茵蔯蒿湯（TJ－135）のアンチセンス転写物発現抑制を介した誘導型一酸化窒素合成酵素阻害. 第 111 回日本外科学会, 平成 23 年 5 月, 紙上開催
2. 松浦　節, 海堀昌樹, 荒木吉朗, 松宮美保, 大石賢玄, 徳原克治, 奥村忠芳, 西沢幹雄, 權　雅憲. 漢方薬茵蔯蒿湯の肝臓保護効果の検討-in vitro 肝細胞を用いたスクリーニング-. 第 48 回日本外科代謝栄養学会, 平成 23 年 7 月, 名古屋
3. 松浦　節, 荒木吉朗, 松宮美保, 海堀昌樹, 奥村忠芳, 權　雅憲. 漢方薬・茵蔯蒿湯, 補中益気湯の iNOS 誘導阻害と肝細胞保護効果. 第 66 回日本消化器外科学会, 7 月, 名古屋

岡崎　智（助教, 香里病院）

発表 (1)

岡崎　智, 兼松清果 , 吉田秀行 , 神原達也, 金　成泰 , 吉岡和彦, 畑埜武彦, 田中完児, 權　雅憲. **FAD** を長期フォロー中に発見できた浸潤性乳管癌の1例. 臨床外科学会 ２０１１年１１月, 東京

向出裕美（助教, 枚方病院）

発表 (6)

1. 向出裕美, 中根恭司, 三木博和, 福井淳一, 山田正法, 道浦　拓, 中井宏治, 井上健太郎, 權　雅憲. 噴門側胃切除術・空腸間置再建術後についての検討. 日本胃癌学会総会, 2011.3, 青森
2. 向出裕美, 道浦拓, 福井淳一, 山田正法, 中井宏治, 井上健太郎, 山道啓吾, 中根恭司, 權　雅憲. 食道癌に対する食道亜全摘術後呼吸器合併症への周術期リハビリテーション介入効果. 日本食道学会学術集会, 2011.9（震災のため変更）, 仙台
3. 向出裕美, 井上健太郎, 福井淳一, 山田正法, 道浦　拓, 中井宏治, 中根恭司, 權　雅憲. 膵液漏のドレナージ不良症例から考える閉鎖式吸引ドレーンの適切な使用方法と留置位置. 胃外科術後障害研究会, 2011.7, 大阪
4. 向出裕美, 道浦　拓, 福井淳一, 山田正法, 中井宏治, 井上健太郎, 山道啓吾, 中根恭司, 權　雅憲. 食道癌に対する食道亜全摘術後呼吸器合併症への周術期リハビリテーション介入効果. JDDW 消化器外科学会, 2011.10, 福岡
5. 向出裕美, 岩本慈能, 徳原克治, 吉岡和彦, 岡崎　智, 福井淳一, 山田正法, 道浦拓, 井上健太郎, 中根恭司, 權　雅憲. 臨床外科学会, 2011.11, 東京
6. 向出裕美, 岩本慈能, 徳原克二, 吉岡和彦, 岡崎　智, 福井淳一, 道浦拓, 井上　健太郎, 中根恭司, 權　雅憲. 当院における XELOX+Bev.療法の使用経験. 大腸肛門病学会, 2011.11, 東京

吉田秀行（助教, 香里病院）

発表 (6)

1. 吉田秀行, 山本大悟, 兼松清果, 田中完児, 石原久美子, 權　雅憲. 当院で診断された若年者乳癌の乳癌検診の検討. 第 19 回日本乳癌学会　2011 年 9 月 2～4 日　仙台
2. 吉田秀行, 兼松清果, 田中完児, 畑埜武彦, 權　雅憲. 精査必要な微細石灰化病変の有効なシステム構築. 第 20 回日本乳癌検診学会　2011 年 10 月 21, 22 日　岡山
3. 吉田秀行, 田中完児, 中村伊佐子, 權　雅憲. 乳癌患者に対する緩和医療への認識　ー乳癌患者会アンケートよりー. 第49回日本癌治療学会　2011年10月27～29日　名古屋
4. 吉田秀行, 岡崎　智, 兼松清果, 權　雅憲. QOL 向上のための在宅 IVH, PCA ポンプを用いた在宅医療. 第 73 回日本臨床外科学会　2011 年 11 月 17～19 日　東京
5. 吉田秀行, 兼松清果, 岡崎　智, 神原達也, 金　成泰, 吉岡和彦, 畑埜武彦, 田中完児, 權　雅憲. 前立腺癌術後に発症した男性乳癌に 1 例. 第 73 回日本臨床外科学会　2011 年 11 月 17～19 日　東京
6. 吉田秀行, 兼松清果, 岡崎　智, 神原達也, 金　成泰, 吉岡和彦, 田中完児, 權　雅憲. レトロゾールが著効した手術未施行, 高齢者乳癌の 1 例. 第 9 回日本乳癌学会近畿地方会　2011 年 12 月 3 日　奈良

講演その他 (4)

1. 吉田秀行. 乳がん早期発見と予防にはマンモグラフィー検診を！寝屋川市　市民公開講座　2011 年 4 月 16 日　大阪
2. 吉田秀行. 当院におけるエコーガイド下マンモトーム生検の有用性. 京都マンモトームセミナー　2011 年 7 月 2 日　京都
3. 吉田秀行. 当院における乳癌の診断と治療. ファイザー社内勉強会　2011 年 3 月 9 日　大阪
4. 吉田秀行. 当院における乳癌薬物療法（化学療法編）. 大鵬薬品社内勉強会　2011 年 10 月 5 日　大阪

柳田英佐（助教, 滝井病院）

発表 (1)

柳田英佐, 吉田　良, 上山庸佑, 山尾　順, 宮宗武史, 尾崎　岳, 肱川　健, 横井川規巨, 中井宏治, 北出浩章, 今村　敦, 室田卓之, 高田秀穂. 子宮癌にて前方骨盤内臓全摘術後15年目にIndiana Pouch内に発生した大腸腺癌の1例. 第66回日本消化器外科学会総会・2011年7月, 名古屋

受賞ならびに表彰

受賞

Poster prize

The 34th Congress of The Korean Association of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery　H23.4
Clinical effect of a clinical pathway for patients undergoing pancreaticoduodenectomy at the University hospital.
Yamaki S., Satoi S., Toyokawa H., Yanagimoto H., Yamamoto T., Hirooka S., Yui R., Matsui Y., Kwon A.

学会賞

第23回日本肝胆膵外科学会　H23.6
膵癌患者における免疫機能評価
廣岡　智、柳本泰明、里井壯平、豊川秀吉、山本智久、山木壮、由井倫太郎、松井陽一、權　雅憲

優秀演題賞

第66回日本消化器外科学会総会　研修医・医学生セッション　H23.7
術前に膵癌との鑑別が困難であったIdiopathic duct-centric pancreatitis (自己免疫性膵炎II型)の１例
関西医科大学外科[1]，同消化器肝臓内科[2]，
良田大典[1]，里井壯平[1]，柳本泰明[1]，豊川秀吉[1]，山本智久[1]，池浦　司[2]，楠田武生[2]，内田一茂[2]，高岡　亮[2]、岡崎和一[2]、權　雅憲[1]

優秀演題賞

関西がんチーム医療研究会　H23.2
胃癌術後内視鏡検査時の食物残渣に対する検査前飲水の有用性
関西医科大学外科、看護師・内視鏡技師[1]、臨床工学技士[2]
向出裕美、井上健太郎、中根恭司、權　雅憲、西野淳子[1]、西本裕美[1]、永峯理可[1]、大安有子[1]、安田光子[1]、高橋　卓[2]

表彰

平成２３年度　神戸市二次救急病院協議会消防病院交渉結果報告　二次救急年間受け入れ件数
第１位　神戸徳洲会病院：３３９８件（平成２２年度に続き２年連続）
第2位は神戸日赤：2935件、第3位は神戸製鋼病院；2705件

平成 23 年度新入教室員紹介

坂口　達馬（さかぐち　たつま）

卒業高校：金蘭千里高等学校
卒業大学：関西医科大学（平成 21 年卒）

現在、附属枚方病院に勤務し、外科関連各科をローテートしています。暗中模索の感もありながら、日々業務に取り組んでいます。
ご迷惑をおかけしますが宜しくお願い致します

中谷　和義（なかたに　かずよし）

卒業高校：清風南海高校
卒業大学：関西医科大学（平成 21 年卒）
頑張っていきたいと思います。

平成 24 年度新入教室員紹介

桒名　香代子（くわな　かよこ）

卒業高校：岡山高校
卒業大学：関西医科大学（平成 22 年卒）

この度、外科に入局しました桒名です。乳腺外科を専門に学びたいと思い入局しました。研修では乳腺外科を 3 か月と滝井外科を 1 か月間ローテートしました。入局の際には、私には敷居が高く感じられだいぶ悩みましたが、權先生のご配慮もあって入局を決心させていただきました。今後、ローテートするにあたって皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるかとは思いますが、乳腺専門医を目指して頑張ります。

中村　有佑（なかむら　ゆうすけ）

卒業高校：高槻高校
卒業大学：兵庫医科大学（平成 20 年卒）

私は兵庫医科大学卒業後、大阪市立大学医学付属病院、大阪厚生年金病院で2年間の初期研修の後、石切生喜病院で2年間の一般外科　研修を受けてまいりました。本年度より縁あって関西医科大学外科学講座にて小児外科を中心とした研修を受けさせて頂くこととなりました。
諸先輩の皆様方、御指導の程何卒よろしく御願い致します。

良田　大典（りょうた　ひろのり）

卒業高校：大阪教育大学教育学部附属高校平野校舎
卒業大学：関西医科大学（平成 22 年卒）
外科医になるべく、一から一所懸命がんばります。